

# 新型コロナウイルス感染症による 影響等実態調査

I. 経営状況（2021年度病院決算）

II. 第6波～第7波における活動状況

（第6波：2022年1月1日～ 6月30日）

（第7波：2022年7月1日～10月31日）

# 調査ならびに回答病院の概要

【調査実施期間】 2022年12月16日～  
2023年 2月10日

【調査対象】 858病院

【有効回答】 343病院 (40.0%)

【調査対象期間】 2022年10月31日時点

【地域別】	会員 病院数	回答 病院数	回答率 (%)
全 体	858	343	40.0
北 海 道	85	30	35.3
東 北	133	56	42.1
関 東	157	64	40.8
北 陸・信 越	87	45	51.7
近 畿・東 海	178	72	40.4
中 国・四 国	121	44	36.4
九 州	97	32	33.0

【種類・病床規模別】	会員 病院数	回答 病院数	回答率 (%)
全 体	858	343	40.0
一般病院	818	318	38.9
99床以下	255	56	22.0
100床台	193	71	36.8
200床台	88	42	47.7
300床台	114	52	45.6
400床台	74	44	59.5
500床以上	94	53	56.4
うち再検証対象医療機関	249	75	30.1
精神科病院	40	25	62.5

## 留意事項

- ① 設問により無回答があるため回答病院数が異なっている
- ② 表示されている桁以下を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある
- ③ 複数回答可の設問においては、%の合計が100%を超える場合がある

# 新型コロナウイルス感染症に係る指定医療機関

対象期間：2022年10月31日時点

【種類・病床規模別】	回答 病院数	重点医療機関		協力医療機関		その他医療機関		左記以外の医療機関	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
全 体	343	241	70.3	72	21.0	20	5.8	47	13.7
一般病院	318	234	73.6	65	20.4	15	4.7	41	12.9
99床以下	56	10	17.9	13	23.2	6	10.7	29	51.8
100床台	71	42	59.2	23	32.4	6	8.5	8	11.3
200床台	42	37	88.1	6	14.3	2	4.8	3	7.1
300床台	52	50	96.2	9	17.3	1	1.9	0	0.0
400床台	44	43	97.7	7	15.9	0	0.0	1	2.3
500床以上	53	52	98.1	7	13.2	0	0.0	0	0.0
うち再検証対象医療機関	75	31	41.3	24	32.0	6	8.0	21	28.0
精神科病院	25	7	28.0	7	28.0	5	20.0	6	24.0

■ 重点医療機関……都道府県の指定を受け、新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関 ※重点医療機関と協力医療機関は重複あり

■ 協力医療機関……都道府県の指定を受け、新型コロナ患者としての確定診断がつくまでの間、新型コロナ疑い患者専用の個室を設定して当該患者を受け入れ、必要な救急医療等を提供する医療機関

■ その他医療機関…重点・協力医療機関以外で新型コロナ患者・疑い患者受入病床を割り当てられた医療機関

■ 左(上)記以外の医療機関…重点・協力医療機関・その他医療機関以外の医療機関

# I. 経営状況（2021年度病院決算）

# 100床あたり平均外来患者延数

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (人)	'20年度(B) (人)	'21年度(C) (人)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (人)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (人)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全 体		342	298	43,310	39,293	41,038	1,745	4.4	-2,272	-5.2
種 類 別	一般病院	317	300	45,418	41,200	43,075	1,875	4.6	-2,343	-5.2
	精神科病院	25	285	14,167	13,102	13,143	41	0.3	-1,024	-7.2
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	240	364	44,961	40,739	42,638	1,899	4.7	-2,323	-5.2
	協力医療機関	35	176	37,614	34,611	35,920	1,309	3.8	-1,694	-4.5
	その他医療機関	20	175	35,225	31,984	32,681	697	2.2	-2,544	-7.2
	上記以外の医療機関	47	106	26,734	24,493	24,770	277	1.1	-1,964	-7.3
病 床 規 模 別	99床以下	56	61	46,895	43,723	45,870	2,147	4.9	-1,025	-2.2
	100床台	70	151	45,995	42,667	44,602	1,935	4.5	-1,393	-3.0
	200床台	42	246	40,364	36,158	38,104	1,946	5.4	-2,260	-5.6
	300床台	52	339	44,298	40,090	41,993	1,903	4.7	-2,305	-5.2
	400床台	44	445	46,453	41,830	43,366	1,536	3.7	-3,087	-6.6
	500床以上	53	632	46,665	42,257	44,257	2,000	4.7	-2,408	-5.2

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均外来患者延数は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均入院患者延数

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (人)	'20年度(B) (人)	'21年度(C) (人)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (人)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (人)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全 体		342	298	27,662	24,714	24,560	-154	-0.6	-3,102	-11.2
種 類 別	一般病院	317	300	27,884	24,834	24,739	-95	-0.4	-3,145	-11.3
	精神科病院	25	285	24,584	23,065	22,109	-956	-4.1	-2,475	-10.1
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	240	364	27,921	24,753	24,670	-83	-0.3	-3,251	-11.6
	協力医療機関	35	176	26,688	25,091	24,450	-641	-2.6	-2,238	-8.4
	その他医療機関	20	175	26,535	24,264	23,475	-789	-3.3	-3,060	-11.5
	上記以外の医療機関	47	106	25,055	23,862	23,488	-374	-1.6	-1,567	-6.3
病 床 規 模 別	99床以下	56	61	22,241	21,181	21,982	801	3.8	-259	-1.2
	100床台	70	151	26,331	24,246	23,639	-607	-2.5	-2,692	-10.2
	200床台	42	246	26,612	23,472	23,192	-280	-1.2	-3,420	-12.9
	300床台	52	339	27,459	24,652	24,679	27	0.1	-2,780	-10.1
	400床台	44	445	28,271	25,059	24,815	-244	-1.0	-3,456	-12.2
	500床以上	53	632	29,400	25,794	25,831	37	0.1	-3,569	-12.1

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均入院患者延数は各年度の病床数を用いて算出している。

# 平均病床利用率

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (%)	'20年度(B) (%)	'21年度(C) (%)	対'20年度比 増減：(C)-(B) (pt)	対'19年度比 増減：(C)-(A) (pt)
全体		337	298	73.3	66.4	66.0	-0.4	-7.3
種類別	一般病院	312	299	73.6	66.4	66.2	-0.2	-7.4
	精神科病院	25	285	69.7	67.0	64.1	-2.9	-5.6
指定医療機関別	重点医療機関	236	364	74.8	66.5	66.1	-0.4	-8.7
	協力医療機関	35	176	74.0	69.1	67.3	-1.8	-6.7
	その他医療機関	20	175	68.2	64.2	65.1	0.9	-3.1
	上記以外の医療機関	46	106	67.7	65.1	65.0	-0.1	-2.7
病床規模別	99床以下	54	59	60.6	57.9	59.2	1.3	-1.4
	100床台	70	151	74.5	68.1	66.7	-1.4	-7.8
	200床台	42	246	74.6	65.3	64.3	-1.0	-10.3
	300床台	51	338	76.2	68.5	68.1	-0.4	-8.1
	400床台	44	445	77.0	68.5	68.0	-0.5	-9.0
	500床以上	51	635	79.9	70.0	70.6	0.6	-9.3

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。

# 100床あたり平均手術件数

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (件)	'20年度(B) (件)	'21年度(C) (件)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (件)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (件)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全体		281	329	867	781	811	30	3.8	-56	-6.5
種 類 別	一般病院	281	329	867	781	811	30	3.8	-56	-6.5
	精神科病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	229	371	896	804	837	33	4.1	-59	-6.6
	協力医療機関	24	154	801	767	777	10	1.3	-24	-3.0
	その他医療機関	14	153	418	389	380	-9	-2.3	-38	-9.1
	上記以外の医療機関	14	115	107	97	88	-9	-9.3	-19	-17.8
病 床 規 模 別	99床以下	26	70	141	125	120	-5	-4.0	-21	-14.9
	100床台	65	153	361	354	352	-2	-0.6	-9	-2.5
	200床台	42	246	605	555	578	23	4.1	-27	-4.5
	300床台	52	339	775	716	737	21	2.9	-38	-4.9
	400床台	43	445	1,005	897	929	32	3.6	-76	-7.6
	500床以上	53	632	1,116	983	1,028	45	4.6	-88	-7.9

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均手術件数は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均救急患者受入件数

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (件)	'20年度(B) (件)	'21年度(C) (件)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (件)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (件)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全 体		323	304	2,493	1,872	2,080	208	11.1	-413	-16.6
種 類 別	一般病院	305	303	2,625	1,969	2,190	221	11.2	-435	-16.6
	精神科病院	18	321	279	239	245	6	2.5	-34	-12.2
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	235	363	2,668	2,001	2,231	230	11.5	-437	-16.4
	協力医療機関	35	176	1,506	1,122	1,200	78	7.0	-306	-20.3
	その他医療機関	18	185	1,485	1,198	1,275	77	6.4	-210	-14.1
	上記以外の医療機関	35	97	785	574	587	13	2.3	-198	-25.2
病 床 規 模 別	99床以下	54	61	1,590	1,224	1,280	56	4.6	-310	-19.5
	100床台	62	155	1,805	1,372	1,488	116	8.5	-317	-17.6
	200床台	42	246	2,273	1,704	1,919	215	12.6	-354	-15.6
	300床台	52	339	2,729	2,088	2,344	256	12.3	-385	-14.1
	400床台	44	445	3,146	2,298	2,551	253	11.0	-595	-18.9
	500床以上	51	628	2,730	2,048	2,276	228	11.1	-454	-16.6

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均救急患者受入件数は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均救急車等受入件数

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (件)	'20年度(B) (件)	'21年度(C) (件)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (件)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (件)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全 体		327	302	692	608	664	56	9.2	-28	-4.0
種 類 別	一般病院	305	303	736	646	707	61	9.4	-29	-3.9
	精神科病院	22	294	41	35	34	-1	-2.9	-7	-17.1
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	235	363	760	667	729	62	9.3	-31	-4.1
	協力医療機関	35	176	324	302	335	33	10.9	11	3.4
	その他医療機関	19	178	307	244	263	19	7.8	-44	-14.3
	上記以外の医療機関	38	106	114	106	106	0	0.0	-8	-7.0
病 床 規 模 別	99床以下	54	61	271	262	291	29	11.1	20	7.4
	100床台	62	155	378	367	391	24	6.5	13	3.4
	200床台	42	246	570	491	536	45	9.2	-34	-6.0
	300床台	52	339	710	639	706	67	10.5	-4	-0.6
	400床台	44	445	868	756	807	51	6.7	-61	-7.0
	500床以上	51	628	884	759	839	80	10.5	-45	-5.1

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均救急車等受入件数は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均医業収益

	回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (千円)	'20年度(B) (千円)	'21年度(C) (千円)	対'20年度比		対'19年度比	
						増減：(C)-(B) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
<b>全 体</b>	<b>326</b>	<b>296</b>	<b>2,497,035</b>	<b>2,394,185</b>	<b>2,519,395</b>	<b>125,210</b>	<b>5.2</b>	<b>22,360</b>	<b>0.9</b>
種 類 別	一般病院	304	2,603,362	2,496,437	2,629,764	133,327	5.3	26,402	1.0
	精神科病院	22	768,925	743,479	743,925	446	0.1	-25,000	-3.3
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	231	2,656,747	2,542,018	2,681,168	139,150	5.5	24,421	0.9
	協力医療機関	35	1,686,570	1,653,765	1,696,393	42,628	2.6	9,823	0.6
	その他医療機関	18	1,445,288	1,389,736	1,411,533	21,797	1.6	-33,755	-2.3
	上記以外の医療機関	42	1,236,330	1,220,919	1,262,015	41,096	3.4	25,685	2.1
病 床 規 模 別	99床以下	56	1,144,642	1,126,858	1,229,039	102,181	9.1	84,397	7.4
	100床台	65	1,704,493	1,672,419	1,725,144	52,725	3.2	20,651	1.2
	200床台	40	2,199,149	2,083,594	2,200,108	116,514	5.6	959	0.0
	300床台	49	2,311,266	2,222,967	2,321,981	99,014	4.5	10,715	0.5
	400床台	43	2,738,968	2,611,630	2,732,653	121,023	4.6	-6,315	-0.2
	500床以上	51	3,250,505	3,102,729	3,285,830	183,101	5.9	35,325	1.1

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均医業収益は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均入院収益

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (千円)	'20年度(B) (千円)	'21年度(C) (千円)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全体		326	296	1,575,387	1,493,583	1,556,766	63,183	4.2	-18,621	-1.2
種 類 別	一般病院	304	299	1,640,812	1,555,535	1,623,073	67,538	4.3	-17,739	-1.1
	精神科病院	22	265	512,045	493,453	490,111	-3,342	-0.7	-21,934	-4.3
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	231	360	1,681,044	1,589,223	1,660,459	71,236	4.5	-20,585	-1.2
	協力医療機関	35	176	1,065,109	1,038,146	1,055,953	17,807	1.7	-9,156	-0.9
	その他医療機関	18	173	827,487	798,009	800,049	2,040	0.3	-27,438	-3.3
	上記以外の医療機関	42	99	741,263	732,369	744,362	11,993	1.6	3,099	0.4
病 床 規 模 別	99床以下	56	61	579,677	573,928	613,945	40,017	7.0	34,268	5.9
	100床台	65	153	1,013,517	989,490	993,251	3,761	0.4	-20,266	-2.0
	200床台	40	246	1,377,867	1,287,641	1,328,514	40,873	3.2	-49,353	-3.6
	300床台	49	337	1,463,336	1,397,845	1,449,821	51,976	3.7	-13,515	-0.9
	400床台	43	445	1,703,530	1,612,266	1,669,737	57,471	3.6	-33,793	-2.0
	500床以上	51	627	2,096,702	1,969,486	2,075,879	106,393	5.4	-20,823	-1.0

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均入院収益は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均外来収益

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (千円)	'20年度(B) (千円)	'21年度(C) (千円)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全 体		326	296	718,530	700,275	752,570	52,295	7.5	34,040	4.7
種 類 別	一般病院	304	299	755,106	736,370	791,885	55,515	7.5	36,779	4.9
	精神科病院	22	265	124,067	117,557	120,117	2,560	2.2	-3,950	-3.2
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	231	360	766,528	747,662	805,342	57,680	7.7	38,814	5.1
	協力医療機関	35	176	451,753	434,103	459,106	25,003	5.8	7,353	1.6
	その他医療機関	18	173	434,359	413,790	422,495	8,705	2.1	-11,864	-2.7
	上記以外の医療機関	42	99	350,336	341,073	356,899	15,826	4.6	6,563	1.9
病 床 規 模 別	99床以下	56	61	411,427	397,013	417,708	20,695	5.2	6,281	1.5
	100床台	65	153	501,631	488,656	523,599	34,943	7.2	21,968	4.4
	200床台	40	246	543,681	520,027	569,766	49,739	9.6	26,085	4.8
	300床台	49	337	656,706	639,125	674,822	35,697	5.6	18,116	2.8
	400床台	43	445	820,834	795,590	854,859	59,269	7.4	34,025	4.1
	500床以上	51	627	952,633	932,254	1,005,262	73,008	7.8	52,629	5.5

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均外来収益は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均医業費用

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (千円)	'20年度(B) (千円)	'21年度(C) (千円)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全体		326	296	2,677,262	2,713,023	2,803,838	90,815	3.3	126,576	4.7
種 類 別	一般病院	304	299	2,781,583	2,820,303	2,916,923	96,620	3.4	135,340	4.9
	精神科病院	22	265	981,767	981,144	984,714	3,570	0.4	2,947	0.3
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	231	360	2,817,797	2,855,048	2,953,147	98,099	3.4	135,350	4.8
	協力医療機関	35	176	1,904,528	1,906,933	1,938,136	31,203	1.6	33,608	1.8
	その他医療機関	18	173	1,757,149	1,798,607	1,826,852	28,245	1.6	69,703	4.0
	上記以外の医療機関	42	99	1,650,079	1,687,397	1,765,206	77,809	4.6	115,127	7.0
病 床 規 模 別	99床以下	56	61	1,618,618	1,669,904	1,775,353	105,449	6.3	156,735	9.7
	100床台	65	153	1,961,845	2,008,525	2,044,259	35,734	1.8	82,414	4.2
	200床台	40	246	2,421,864	2,485,443	2,558,721	73,278	2.9	136,857	5.7
	300床台	49	337	2,518,261	2,575,230	2,635,559	60,329	2.3	117,298	4.7
	400床台	43	445	2,850,318	2,856,176	2,961,722	105,546	3.7	111,404	3.9
	500床以上	51	627	3,381,070	3,407,047	3,534,684	127,637	3.7	153,614	4.5

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均医業費用は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均職員給与費

	回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (千円)	'20年度(B) (千円)	'21年度(C) (千円)	対'20年度比		対'19年度比	
						増減：(C)-(B) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
<b>全 体</b>	<b>326</b>	<b>296</b>	<b>1,350,199</b>	<b>1,409,948</b>	<b>1,436,332</b>	<b>26,384</b>	<b>1.9</b>	<b>86,133</b>	<b>6.4</b>
種 類 別	一般病院	304	1,391,076	1,454,917	1,483,079	28,162	1.9	92,003	6.6
	精神科病院	22	685,840	683,985	684,332	347	0.1	-1,508	-0.2
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	231	1,398,916	1,463,799	1,492,458	28,659	2.0	93,542	6.7
	協力医療機関	35	1,072,431	1,090,911	1,102,213	11,302	1.0	29,782	2.8
	その他医療機関	18	1,039,483	1,090,378	1,098,693	8,315	0.8	59,210	5.7
	上記以外の医療機関	42	1,002,507	1,021,489	1,038,037	16,548	1.6	35,530	3.5
病 床 規 模 別	99床以下	56	947,053	974,917	1,038,930	64,013	6.6	91,877	9.7
	100床台	65	1,103,933	1,164,187	1,183,045	18,858	1.6	79,112	7.2
	200床台	40	1,306,241	1,389,700	1,407,372	17,672	1.3	101,131	7.7
	300床台	49	1,309,690	1,383,660	1,404,449	20,789	1.5	94,759	7.2
	400床台	43	1,446,364	1,488,017	1,507,034	19,017	1.3	60,670	4.2
	500床以上	51	1,567,914	1,634,988	1,671,819	36,831	2.3	103,905	6.6

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均職員給与費は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均材料費

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (千円)	'20年度(B) (千円)	'21年度(C) (千円)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全 体		326	296	654,929	640,513	683,979	43,466	6.8	29,050	4.4
種 類 別	一般病院	304	299	691,189	676,257	722,575	46,318	6.8	31,386	4.5
	精神科病院	22	265	65,606	63,482	63,106	-376	-0.6	-2,500	-3.8
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	231	360	712,815	697,067	746,446	49,379	7.1	33,631	4.7
	協力医療機関	35	176	357,058	346,228	361,503	15,275	4.4	4,445	1.2
	その他医療機関	18	173	252,553	235,285	227,860	-7,425	-3.2	-24,693	-9.8
	上記以外の医療機関	42	99	219,072	222,221	224,755	2,534	1.1	5,683	2.6
病 床 規 模 別	99床以下	56	61	169,762	165,046	163,581	-1,465	-0.9	-6,181	-3.6
	100床台	65	153	310,570	308,291	316,668	8,377	2.7	6,098	2.0
	200床台	40	246	444,568	432,184	465,049	32,865	7.6	20,481	4.6
	300床台	49	337	554,269	546,247	571,180	24,933	4.6	16,911	3.1
	400床台	43	445	718,449	697,151	744,162	47,011	6.7	25,713	3.6
	500床以上	51	627	1,003,039	976,716	1,051,194	74,478	7.6	48,155	4.8

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均材料費は各年度の病床数を用いて算出している。

# 100床あたり平均光熱水費

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (千円)	'20年度(B) (千円)	'21年度(C) (千円)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (千円)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全体		326	296	43,420	39,612	43,148	3,536	8.9	-272	-0.6
種 類 別	一般病院	304	299	44,825	40,881	44,541	3,660	9.0	-284	-0.6
	精神科病院	22	265	20,571	19,120	20,748	1,628	8.5	177	0.9
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	231	360	44,785	40,680	44,344	3,664	9.0	-441	-1.0
	協力医療機関	35	176	35,101	32,168	34,382	2,214	6.9	-719	-2.0
	その他医療機関	18	173	31,937	28,828	31,873	3,045	10.6	-64	-0.2
	上記以外の医療機関	42	99	36,434	36,621	39,853	3,232	8.8	3,419	9.4
病 床 規 模 別	99床以下	56	61	34,294	32,832	37,917	5,085	15.5	3,623	10.6
	100床台	65	153	36,237	33,624	36,306	2,682	8.0	69	0.2
	200床台	40	246	40,986	38,771	42,618	3,847	9.9	1,632	4.0
	300床台	49	337	41,669	38,441	41,483	3,042	7.9	-186	-0.4
	400床台	43	445	44,519	40,637	44,889	4,252	10.5	370	0.8
	500床以上	51	627	51,760	46,071	49,729	3,658	7.9	-2,031	-3.9

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均光熱水費は各年度の病床数を用いて算出している。

# 平均入院診療単価

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (円)	'20年度(B) (円)	'21年度(C) (円)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (円)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (円)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
<b>全 体</b>		<b>338</b>	<b>297</b>	<b>46,874</b>	<b>49,794</b>	<b>51,762</b>	<b>1,968</b>	<b>4.0</b>	<b>4,888</b>	<b>10.4</b>
種 類 別	一般病院	314	300	48,751	51,853	53,921	2,068	4.0	5,170	10.6
	精神科病院	24	260	22,319	22,860	23,522	662	2.9	1,203	5.4
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	237	363	53,733	57,353	59,791	2,438	4.3	6,058	11.3
	協力医療機関	35	176	34,093	35,778	36,798	1,020	2.9	2,705	7.9
	その他医療機関	20	175	30,386	31,713	33,367	1,654	5.2	2,981	9.8
	上記以外の医療機関	46	105	28,427	29,373	29,778	405	1.4	1,351	4.8
病 床 規 模 別	99床以下	56	61	26,695	27,662	28,256	594	2.1	1,561	5.8
	100床台	69	151	37,913	39,876	41,121	1,245	3.1	3,208	8.5
	200床台	41	247	50,971	54,674	56,967	2,293	4.2	5,996	11.8
	300床台	51	339	53,985	57,458	59,866	2,408	4.2	5,881	10.9
	400床台	44	445	59,188	63,368	66,388	3,020	4.8	7,200	12.2
	500床以上	53	632	70,744	75,868	79,275	3,407	4.5	8,531	12.1

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。

# 平均外来診療単価

		回答 病院数	平均 病床数	'19年度(A) (円)	'20年度(B) (円)	'21年度(C) (円)	対'20年度比		対'19年度比	
							増減：(C)-(B) (円)	増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$ (%)	増減：(C)-(A) (円)	増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$ (%)
全体		338	297	13,876	14,784	14,983	199	1.3	1,107	8.0
種 類 別	一般病院	314	300	14,275	15,245	15,457	212	1.4	1,182	8.3
	精神科病院	24	260	8,649	8,757	8,783	26	0.3	134	1.5
指 定 医 療 機 関 別	重点医療機関	237	363	15,413	16,509	16,883	374	2.3	1,470	9.5
	協力医療機関	35	176	9,657	9,990	10,181	191	1.9	524	5.4
	その他医療機関	20	175	10,763	11,350	10,939	-411	-3.6	176	1.6
	上記以外の医療機関	46	105	10,517	11,036	10,607	-429	-3.9	90	0.9
病 床 規 模 別	99床以下	56	61	8,998	9,350	9,000	-350	-3.7	2	0.0
	100床台	69	151	11,134	11,680	11,851	171	1.5	717	6.4
	200床台	41	247	13,239	14,073	14,463	390	2.8	1,224	9.2
	300床台	51	339	15,403	16,637	16,756	119	0.7	1,353	8.8
	400床台	44	445	18,043	19,461	19,955	494	2.5	1,912	10.6
	500床以上	53	632	20,529	22,180	22,759	579	2.6	2,230	10.9

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。

# 指定医療機関別の2021年度経営状況の過年度比較

全体 n=326	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医療収支比率(%)	93.3	88.2	89.9	1.7	-3.4
経常収支比率(%)	98.6	103.3	106.7	3.4	8.1
経常収支赤字病院	198	114	61	-53	-137
経常収支黒字病院	128	212	265	53	137
経常収支黒字病院の割合(%)	39.3	65.0	81.3	16.3	42.0

重点医療機関 n=231	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医療収支比率(%)	94.3	89.0	90.8	1.8	-3.5
経常収支比率(%)	98.7	103.8	107.3	3.5	8.6
経常収支赤字病院	137	62	21	-41	-116
経常収支黒字病院	94	169	210	41	116
経常収支黒字病院の割合(%)	40.7	73.2	90.9	17.7	50.2

その他医療機関 n=18	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医療収支比率(%)	82.3	77.3	77.3	0.0	-5.0
経常収支比率(%)	95.5	97.6	100.8	3.2	5.3
経常収支赤字病院	14	10	8	-2	-6
経常収支黒字病院	4	8	10	2	6
経常収支黒字病院の割合(%)	22.2	44.4	55.6	11.2	33.4

- **重点医療機関**……都道府県の指定を受け、新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関
- **協力医療機関**……都道府県の指定を受け、新型コロナ患者としての確定診断がつかまでの間、新型コロナ疑い患者専用の個室を設定して当該患者を受け入れ、必要な救急医療等を提供する医療機関
- **その他医療機関**…重点・協力医療機関以外で新型コロナ患者・疑い患者受入病床を割り当てられた医療機関
- **上記以外の医療機関**…重点・協力医療機関・その他医療機関以外の医療機関

協力医療機関 n=35	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医療収支比率(%)	88.6	86.7	87.5	0.8	-1.1
経常収支比率(%)	99.0	100.6	104.2	3.6	5.2
経常収支赤字病院	23	14	11	-3	-12
経常収支黒字病院	12	21	24	3	12
経常収支黒字病院の割合(%)	34.3	60.0	68.6	8.6	34.3

上記以外の医療機関 n=42	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医療収支比率(%)	74.9	72.4	71.5	-0.9	-3.4
経常収支比率(%)	96.5	96.4	96.7	0.3	0.2
経常収支赤字病院	24	28	21	-7	-3
経常収支黒字病院	18	14	21	7	3
経常収支黒字病院の割合(%)	42.9	33.3	50.0	16.7	7.1

# 病床規模別の2021年度経営状況の過年度比較

一般病院 n=304	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医業収支比率(%)	93.6	88.5	90.2	1.7	-3.4
経常収支比率(%)	98.6	103.4	106.8	3.4	8.2
経常収支赤字病院	188	108	53	-55	-135
経常収支黒字病院	116	196	251	55	135
経常収支黒字病院の割合(%)	38.2	64.5	82.6	18.1	44.4

99床以下 n=56	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医業収支比率(%)	70.7	67.5	69.2	1.7	-1.5
経常収支比率(%)	94.6	97.4	100.6	3.2	6.0
経常収支赤字病院	39	32	22	-10	-17
経常収支黒字病院	17	24	34	10	17
経常収支黒字病院の割合(%)	30.4	42.9	60.7	17.8	30.3

100床台 n=65	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医業収支比率(%)	86.9	83.3	84.4	1.1	-2.5
経常収支比率(%)	96.9	100.9	107.9	7.0	11.0
経常収支赤字病院	43	28	13	-15	-30
経常収支黒字病院	22	37	52	15	30
経常収支黒字病院の割合(%)	33.8	56.9	80.0	23.1	46.2

200床台 n=40	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医業収支比率(%)	90.8	83.8	86.0	2.2	-4.8
経常収支比率(%)	97.5	102.9	107.3	4.4	9.8
経常収支赤字病院	25	14	6	-8	-19
経常収支黒字病院	15	26	34	8	19
経常収支黒字病院の割合(%)	37.5	65.0	85.0	20.0	47.5

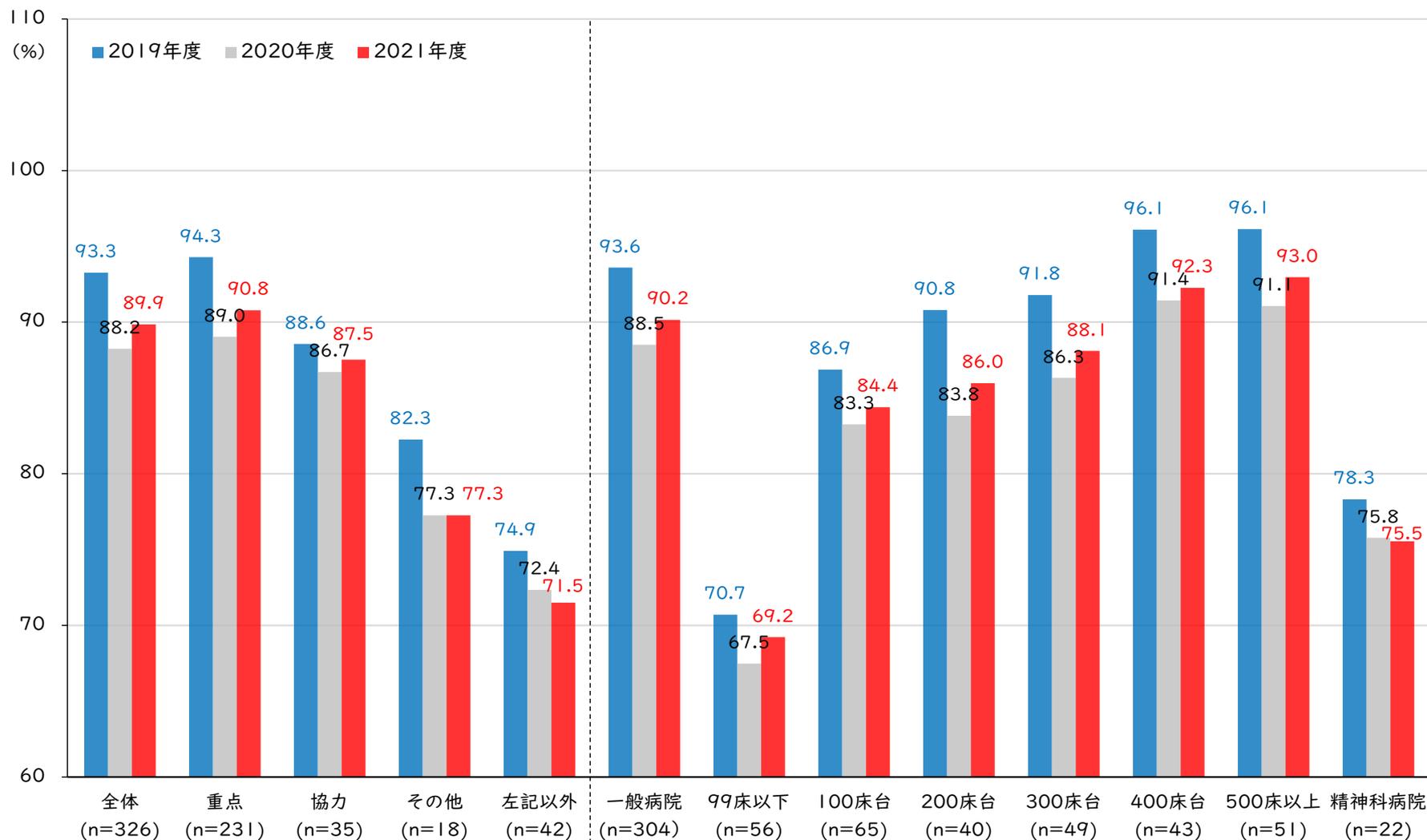
300床台 n=49	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医業収支比率(%)	91.8	86.3	88.1	1.8	-3.7
経常収支比率(%)	97.2	103.0	107.2	4.2	10.0
経常収支赤字病院	28	14	4	-10	-24
経常収支黒字病院	21	35	45	10	24
経常収支黒字病院の割合(%)	42.9	71.4	91.8	20.4	48.9

400床台 n=43	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医業収支比率(%)	96.1	91.4	92.3	0.9	-3.8
経常収支比率(%)	99.4	104.1	106.2	2.1	6.8
経常収支赤字病院	23	11	8	-3	-15
経常収支黒字病院	20	32	35	3	15
経常収支黒字病院の割合(%)	46.5	74.4	81.4	7.0	34.9

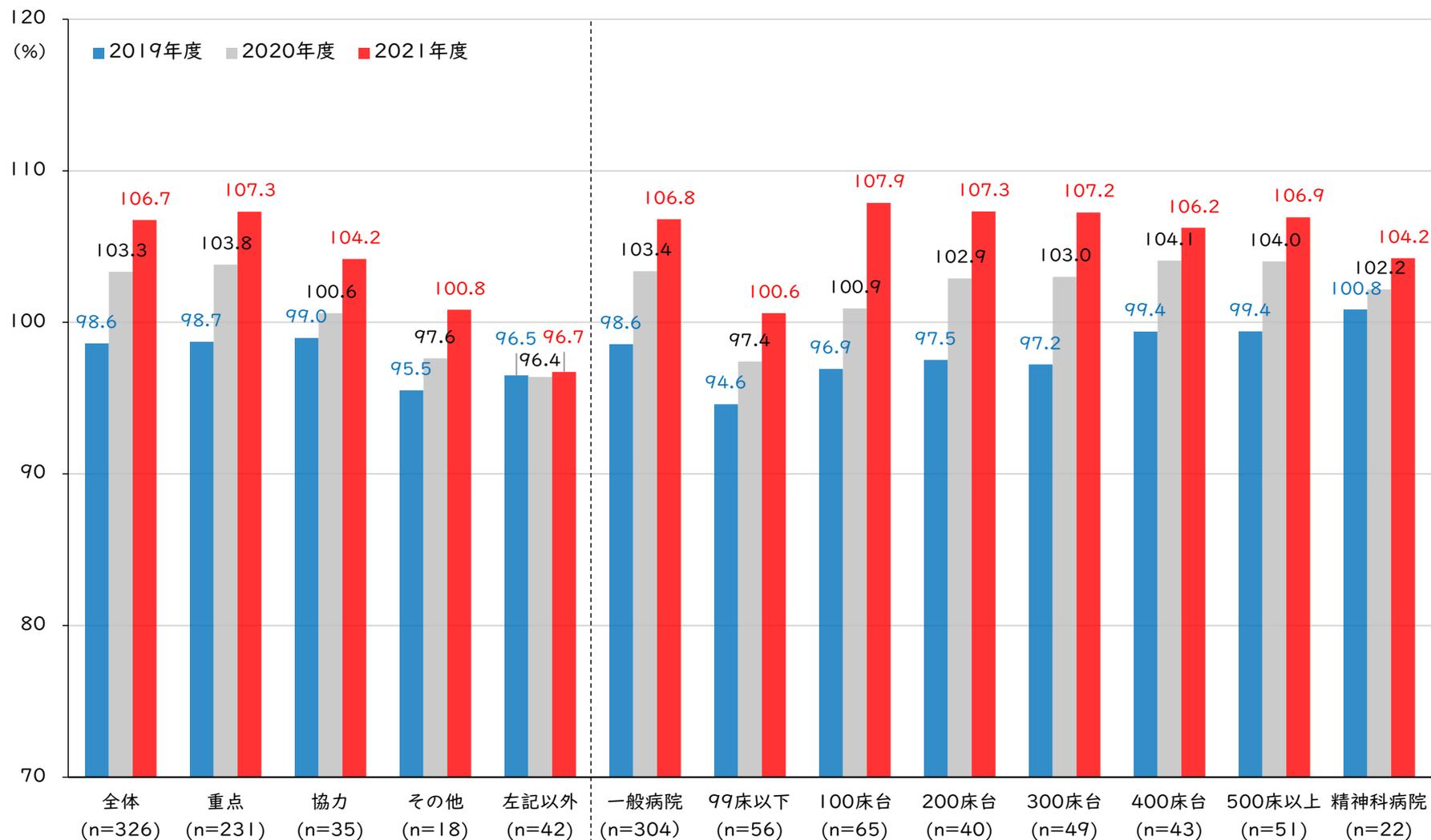
500床以上 n=51	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医業収支比率(%)	96.1	91.1	93.0	1.9	-3.1
経常収支比率(%)	99.4	104.0	106.9	2.9	7.5
経常収支赤字病院	30	9	0	-9	-30
経常収支黒字病院	21	42	51	9	30
経常収支黒字病院の割合(%)	41.2	82.4	100.0	17.6	58.8

精神科病院 n=22	'19年度(A)	'20年度(B)	'21年度(C)	対'20年度比 (C)-(B)	対'19年度比 (C)-(A)
医業収支比率(%)	78.3	75.8	75.5	-0.3	-2.8
経常収支比率(%)	100.8	102.2	104.2	2.0	3.4
経常収支赤字病院	10	6	8	2	-2
経常収支黒字病院	12	16	14	-2	2
経常収支黒字病院の割合(%)	54.5	72.7	63.6	-9.1	9.1

# 2021年度医業収支比率の過年度比較



# 2021年度経常収支比率の過年度比較



# 指定医療機関別の100床あたり平均医業損益

(単位：千円・%)

	全体	重点医療機関	協力医療機関	その他 医療機関	左記以外の 医療機関
回答病院数	326	231	35	18	42
平均病床数	297	362	174	161	100
'19年度医業損益 (A)	-180,227	-161,050	-217,958	-311,861	-413,749
'19年度医業収支比率	93.3	94.3	88.6	82.3	74.9
'20年度医業損益 (B)	-318,838	-313,030	-253,168	-408,871	-466,478
'20年度医業収支比率	88.2	89.0	86.7	77.3	72.4
'21年度医業損益 (C)	-284,443	-271,979	-241,743	-415,319	-503,191
'21年度医業収支比率	89.9	90.8	87.5	77.3	71.5
対'20年度比 (C)-(B)	34,395	41,051	11,425	-6,448	-36,713
対'19年度比 (C)-(A)	-104,216	-110,929	-23,785	-103,458	-89,442

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均医業損益は各年度の病床数を用いて算出している。

# 病床規模別の100床あたり平均医業損益

(単位：千円・%)

	一般病院							精神科病院
	99床以下	100床台	200床台	300床台	400床台	500床以上		
回答病院数	304	56	65	40	49	43	51	22
平均病床数	300	61	152	249	337	447	630	257
'19年度医業損益 (A)	-178,221	-473,976	-257,352	-222,715	-206,995	-111,350	-130,565	-212,842
'19年度医業収支比率	93.6	70.7	86.9	90.8	91.8	96.1	96.1	78.3
'20年度医業損益 (B)	-323,866	-543,046	-336,106	-401,849	-352,263	-244,546	-304,318	-237,665
'20年度医業収支比率	88.5	67.5	83.3	83.8	86.3	91.4	91.1	75.8
'21年度医業損益 (C)	-287,159	-546,314	-319,115	-358,613	-313,578	-229,069	-248,854	-240,789
'21年度医業収支比率	90.2	69.2	84.4	86.0	88.1	92.3	93.0	75.5
前年度比 (C)-(B)	36,707	-3,268	16,991	43,236	38,685	15,477	55,464	-3,124
前々年度比 (C)-(A)	-108,938	-72,338	-61,763	-135,898	-106,583	-117,719	-118,289	-27,947

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均医業損益は各年度の病床数を用いて算出している。

# 指定医療機関別の100床あたり平均経常損益

(単位：千円・%)

	全体	重点医療機関	協力医療機関	その他 医療機関	左記以外の 医療機関
回答病院数	326	231	35	18	42
平均病床数	297	362	174	161	100
'19年度経常損益	-38,902	-37,604	-20,228	-82,587	-60,519
'19年度経常収支比率	98.6	98.7	99.0	95.5	96.5
'20年度経常損益	94,972	113,853	11,893	-44,491	-63,666
'20年度経常収支比率	103.3	103.8	100.6	97.6	96.4
'21年度経常損益 (A)	198,189	225,876	83,939	15,822	-60,462
'21年度経常収支比率	106.7	107.3	104.2	100.8	96.7
'21年度新型コロナ関連補助金 (B)	351,149	389,656	130,880	191,434	15,369
(B)を控除した'21年度経常損益 (A)-(B)	-152,960	-163,780	-46,941	-175,612	-75,831
(B)を控除した'21年度経常収支比率	94.8	94.7	97.7	90.8	95.9

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均経常損益は各年度の病床数を用いて算出している。

# 病床規模別の100床あたり平均経常損益

(単位：千円・%)

	一般病院							精神科病院
	99床以下	100床台	200床台	300床台	400床台	500床以上		
回答病院数	304	56	65	40	49	43	51	22
平均病床数	300	61	152	249	337	447	630	257
'19年度経常損益	-41,823	-91,798	-63,260	-62,343	-73,116	-17,878	-20,970	8,547
'19年度経常収支比率	98.6	94.6	96.9	97.5	97.2	99.4	99.4	100.8
'20年度経常損益	99,500	-45,318	19,482	74,863	81,025	122,038	143,926	21,883
'20年度経常収支比率	103.4	97.4	100.9	102.9	103.0	104.1	104.0	102.2
'21年度経常損益 (A)	207,846	11,377	169,412	194,768	199,941	193,793	257,047	42,790
'21年度経常収支比率	106.8	100.6	107.9	107.3	107.2	106.2	106.9	104.2
'21年度新型コロナ関連補助金 (B)	368,160	95,717	293,838	397,076	399,054	333,103	416,036	77,508
(B)を控除した'21年度経常損益 (A)-(B)	-160,314	-84,340	-124,426	-202,308	-199,113	-139,310	-158,989	-34,718
(B)を控除した'21年度経常収支比率	94.8	95.5	94.2	92.4	92.8	95.5	95.7	96.6

注：平均病床数は2022年10月31日時点の病床数を表示。100床あたり平均経常損益は各年度の病床数を用いて算出している。

# 指定医療機関別の医業収支比率・経常収支比率の比較

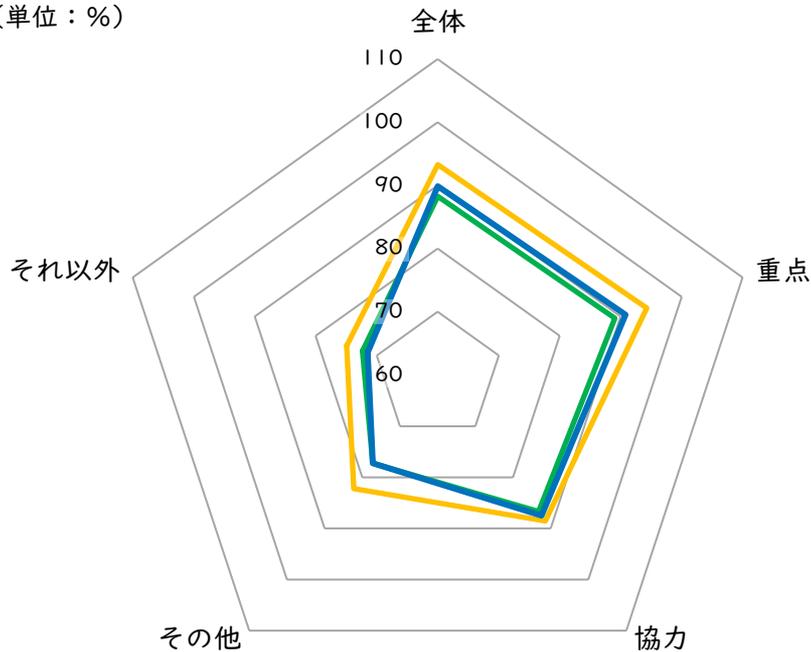
【 医業収支比率 】

	全体 (n=326)	重点 医療機関 (n=231)	協力 医療機関 (n=35)	その他 医療機関 (n=18)	それ以外の 医療機関 (n=42)
2019年度医業収支比率(%)	93.3	94.3	88.6	82.3	74.9
2020年度医業収支比率(%)	88.2	89.0	86.7	77.3	72.4
2021年度医業収支比率(%)	89.9	90.8	87.5	77.3	71.5

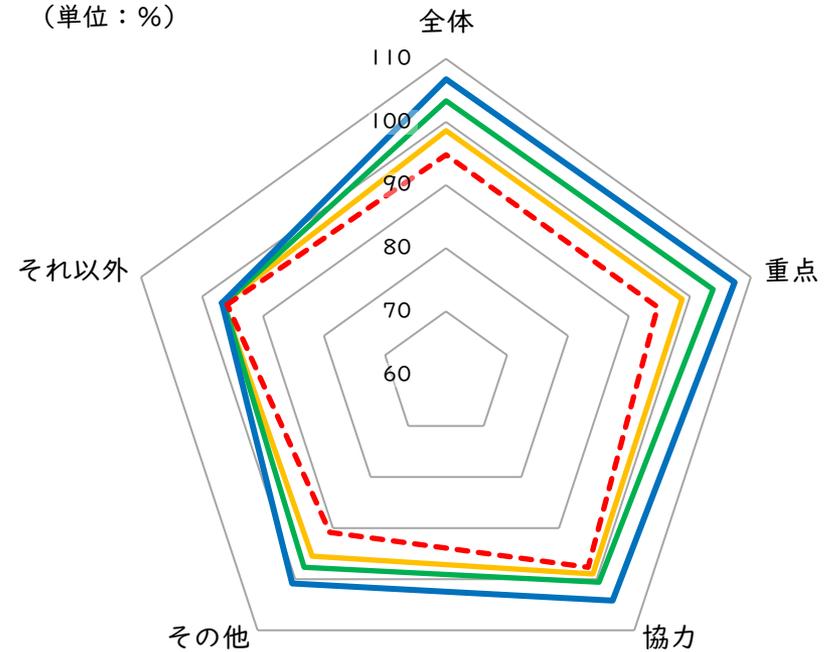
【 経常収支比率 】

	全体 (n=326)	重点 医療機関 (n=231)	協力 医療機関 (n=35)	その他 医療機関 (n=18)	それ以外の 医療機関 (n=42)
2019年度経常収支比率(%)	98.6	98.7	99.0	95.5	96.5
2020年度経常収支比率(%)	103.3	103.8	100.6	97.6	96.4
2021年度経常収支比率(%)	106.7	107.3	104.2	100.8	96.7
新型コロナ関連補助金を控除した 2021年度経常収支比率(%)	94.8	94.7	97.7	90.8	95.9

(単位：%)



(単位：%)



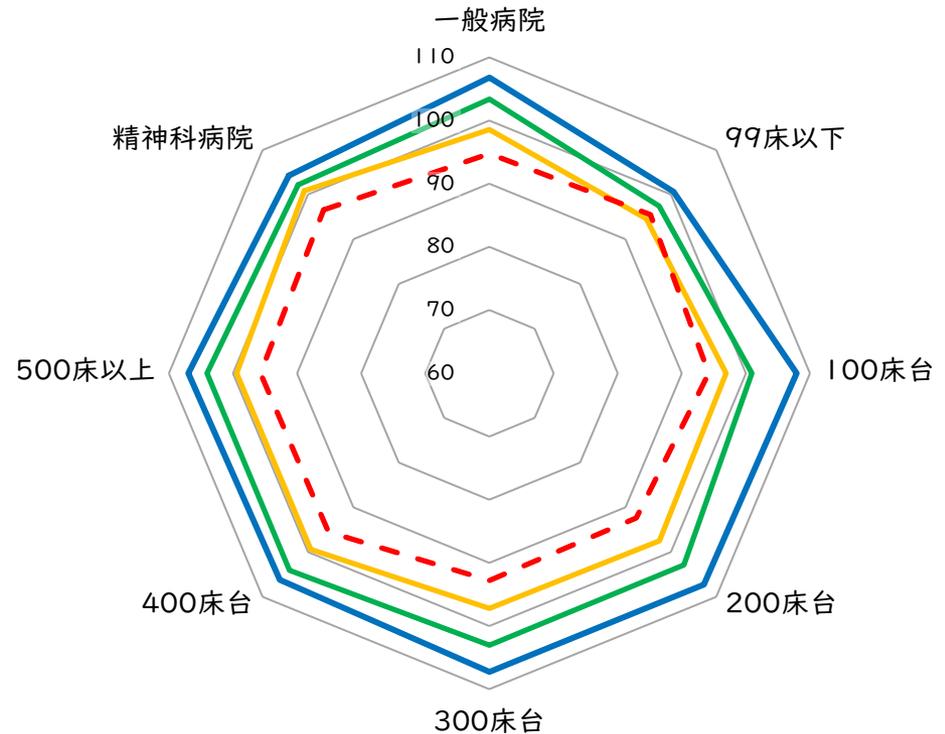
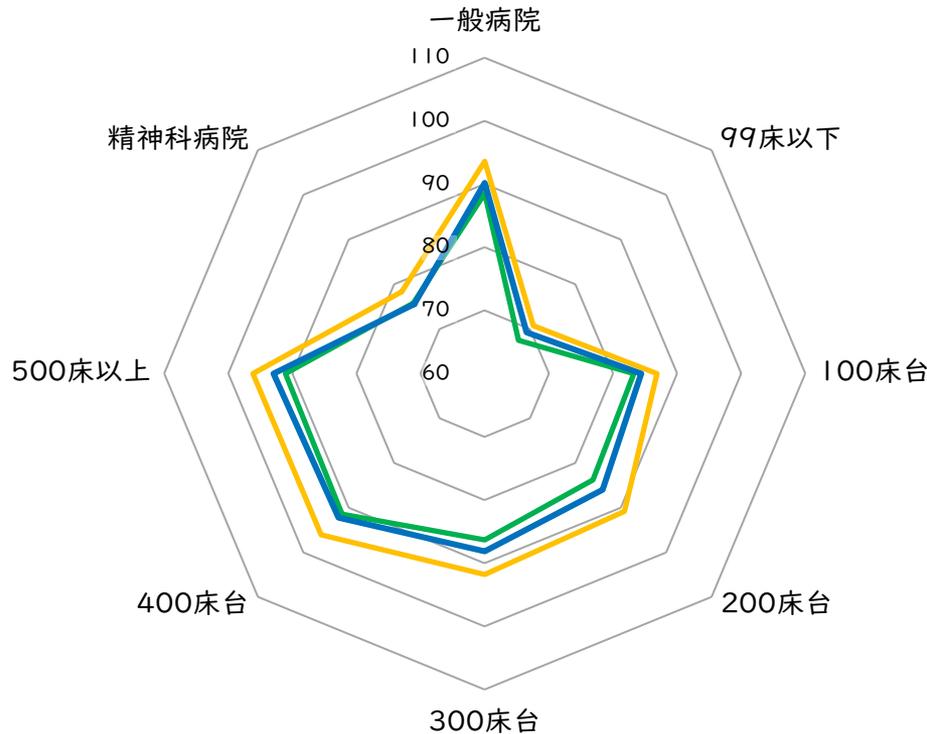
# 病床規模別の医業収支比率・経常収支比率の比較

【医業収支比率】

	一般病院 (n=304)	99床以下 (n=56)	100床台 (n=65)	200床台 (n=40)	300床台 (n=49)	400床台 (n=43)	500床以上 (n=51)	精神科病院 (n=22)
2019年度医業収支比率(%)	93.6	70.7	86.9	90.8	91.8	96.1	96.1	78.3
2020年度医業収支比率(%)	88.5	67.5	83.3	83.8	86.3	91.4	91.1	75.8
2021年度医業収支比率(%)	90.2	69.2	84.4	86.0	88.1	92.3	93.0	75.5

【経常収支比率】

	一般病院 (n=304)	99床以下 (n=56)	100床台 (n=65)	200床台 (n=40)	300床台 (n=49)	400床台 (n=43)	500床以上 (n=51)	精神科病院 (n=22)
2019年度経常収支比率(%)	98.6	94.6	96.9	97.5	97.2	99.4	99.4	100.8
2020年度経常収支比率(%)	103.4	97.4	100.9	102.9	103.0	104.1	104.0	102.2
2021年度経常収支比率(%)	106.8	100.6	107.9	107.3	107.2	106.2	106.9	104.2
新型コロナ関連補助金を控除した 2021年度経常収支比率(%)	94.8	95.5	94.2	92.4	92.8	95.5	95.7	96.6



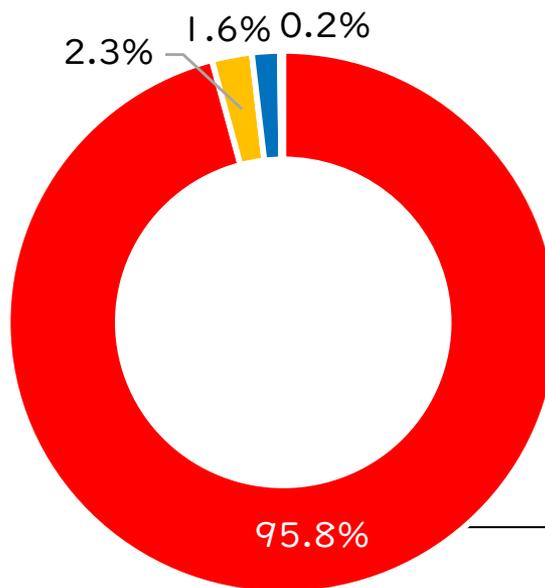
# 2021年度新型コロナ関連補助金の交付状況と主な内訳

(単位：千円)

	全体		重点医療機関		協力医療機関		その他医療機関		左記以外の医療機関	
回答病院数	326		231		35		18		42	
'21年度新型コロナ関連補助金	339,838,928		325,670,733		7,961,443		5,559,247		647,505	
うち 病床確保に係る補助金	287,012,768	84.5 (%)	276,982,712	85.0 (%)	5,657,204	71.1 (%)	4,170,299	75.0 (%)	202,553	31.3 (%)
うち 人件費に係る補助金	11,466,998	3.4	10,751,685	3.3	533,792	6.7	90,528	1.6	90,993	14.1
うち 機器整備に係る補助金	5,113,315	1.5	4,863,376	1.5	152,660	1.9	31,371	0.6	65,909	10.2
1病院あたり'21年度新型コロナ関連補助金	1,042,451		1,409,830		227,470		308,847		15,417	



新型コロナ関連補助金全体に占める  
各指定医療機関の割合



'21年度新型コロナ関連補助金

339,838,928千円に占める病床確保に係る補助金の割合は84.5%となっている。

'21年度新型コロナ関連補助金の内訳にはその他の項目があるため表示した項目の金額は合計額とは一致しない。

'21年度新型コロナ関連補助金  
339,838,928千円に占める  
重点医療機関の割合は95.8%  
(325,670,733千円)となっている。

# 2021年度資本的収支（新型コロナに係る分）

（単位：千円）

	全体 (n=252)		重点医療機関 (n=198)		協力医療機関 (n=20)		その他医療機関 (n=14)		左記以外の医療機関 (n=20)	
<b>A 資本的収入</b>	<b>30,284,052</b>	<b>100.0 (%)</b>	<b>28,679,471</b>	<b>100.0 (%)</b>	<b>989,072</b>	<b>100.0 (%)</b>	<b>474,081</b>	<b>100.0 (%)</b>	<b>141,428</b>	<b>100.0 (%)</b>
企業債／長期借入金	6,821,857	22.5	6,591,294	23.0	50,500	5.1	168,838	35.6	11,225	7.9
他会計繰入金／運営費負担金・交付金	6,626,583	21.9	6,026,187	21.0	461,675	46.7	97,300	20.5	41,421	29.3
国庫補助金(a)	12,675,361	41.9	12,125,271	42.3	337,660	34.1	161,146	34.0	51,284	36.3
都道府県補助金(b)	1,936,472	6.4	1,832,621	6.4	71,466	7.2	7,229	1.5	25,156	17.8
その他	2,223,779	7.3	2,104,098	7.3	67,771	6.9	39,568	8.3	12,342	8.7
<b>B 資本的支出</b>	<b>39,773,225</b>	<b>100.0 (%)</b>	<b>37,664,215</b>	<b>100.0 (%)</b>	<b>1,289,217</b>	<b>100.0 (%)</b>	<b>599,394</b>	<b>100.0 (%)</b>	<b>220,399</b>	<b>100.0 (%)</b>
建設改良費	26,411,272	66.4	25,211,909	66.9	531,640	41.2	462,108	77.1	205,615	93.3
医療機器等	22,287,468	56.0	21,419,164	56.9	400,049	31.0	375,145	62.6	93,110	42.2
設備等改修費	3,018,251	7.6	2,758,086	7.3	130,148	10.1	44,372	7.4	85,645	38.9
その他	1,105,553	2.8	1,034,659	2.7	1,443	0.1	42,591	7.1	26,860	12.2
その他	13,361,953	33.6	12,452,306	33.1	757,577	58.8	137,286	22.9	14,784	6.7
<b>収支差額(A-B)</b>	<b>-9,489,173</b>		<b>-8,984,744</b>		<b>-300,145</b>		<b>-125,313</b>		<b>-78,971</b>	
1病院あたり平均収支差額	-37,655		-45,377		-15,007		-8,951		-3,949	
補填不足額(a+b)-(B)	-25,161,392		-23,706,323		-880,091		-431,019		-143,959	

# 2021年度収支状況

(単位：千円)

	全体	重点医療機関	協力医療機関	その他医療機関	左記以外の医療機関
回答病院数	246	195	20	13	18
平均病床数	320	366	178	170	89
'19年度医業損益 (A)	-134,598,590	-117,432,816	-8,183,347	-4,462,858	-4,519,569
'21年度医業損益 (B)	-219,669,069	-199,741,509	-8,130,931	-7,153,179	-4,643,450
対'19年度比(増減) (C)=(B)-(A)	-85,070,479	-82,308,693	52,416	-2,690,321	-123,881
資本的収支 補填不足額 (D)	-24,466,426	-23,015,702	-880,091	-431,019	-139,614
'21年度新型コロナ関連補助金 (E)	302,310,461	291,196,240	5,717,718	5,265,283	131,220
<b>差額 (C)+(D)+(E)</b>	<b>192,773,556</b>	<b>185,871,845</b>	<b>4,890,043</b>	<b>2,143,943</b>	<b>-132,275</b>
1病院あたり平均差額	783,632	953,189	244,502	164,919	-7,349

【全体】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	326	326	326	-	-
平均病床数	300	298	297	-1	-3
経常収支赤字病院数	198	114	61	-53	-137
経常収支黒字病院数	128	212	265	53	137
経常収支赤字病院の割合	60.7	35.0	18.7	-16.3	-42.0
経常収支黒字病院の割合	39.3	65.0	81.3	16.3	42.0
A 総収益	2,776,769	2,976,144	3,156,571	6.1	13.7
a 医業収益	2,497,035	2,394,185	2,519,395	5.2	0.9
入院収益	1,575,387	1,493,583	1,556,766	4.2	-1.2
外来収益	718,530	700,275	752,570	7.5	4.7
その他医業収益	203,118	200,327	210,059	4.9	3.4
b 医業外収益	261,225	542,059	615,518	13.6	135.6
c 特別利益	18,509	39,900	21,658	-45.7	17.0
B 総費用	2,815,791	2,879,447	2,949,655	2.4	4.8
d 医業費用	2,677,262	2,713,023	2,803,838	3.3	4.7
職員給与費	1,350,199	1,409,948	1,436,332	1.9	6.4
材料費	654,929	640,513	683,979	6.8	4.4
うち薬品費	373,713	364,031	386,518	6.2	3.4
うち診療材料費	268,541	264,619	284,935	7.7	6.1
減価償却費	199,436	199,416	203,321	2.0	1.9
その他医業費用	472,698	463,146	480,206	3.7	1.6
うち光熱水費	43,420	39,612	43,148	8.9	-0.6
うち委託料	254,384	249,530	256,194	2.7	0.7
e 医業外費用	119,900	128,249	132,886	3.6	10.8
f 特別損失	18,629	38,175	12,931	-66.1	-30.6
医業損益 (a-d)	-180,227	-318,838	-284,443	34,395	-104,216
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-38,902	94,972	198,189	103,217	237,091
純損益 (A-B)	-39,022	96,697	206,916	110,219	245,938
医業収支比率 (a/d)	93.3	88.2	89.9	1.7	-3.4
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	98.6	103.3	106.7	3.4	8.1

【一般病院】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	304	304	304	-	-
平均病床数	303	301	300	-1	-3
経常収支赤字病院数	188	108	53	-55	-135
経常収支黒字病院数	116	196	251	55	135
経常収支赤字病院の割合	61.8	35.5	17.4	-18.1	-44.4
経常収支黒字病院の割合	38.2	64.5	82.6	18.1	44.4
A 総収益	2,884,773	3,096,097	3,287,155	6.2	13.9
a 医業収益	2,603,362	2,496,437	2,629,764	5.3	1.0
入院収益	1,640,812	1,555,535	1,623,073	4.3	-1.1
外来収益	755,106	736,370	791,885	7.5	4.9
その他医業収益	207,444	204,532	214,806	5.0	3.5
b 医業外収益	261,938	557,866	634,471	13.7	142.2
c 特別利益	19,473	41,794	22,920	-45.2	17.7
B 総費用	2,926,810	2,994,862	3,069,924	2.5	4.9
d 医業費用	2,781,583	2,820,303	2,916,923	3.4	4.9
職員給与費	1,391,076	1,454,917	1,483,079	1.9	6.6
材料費	691,189	676,257	722,575	6.8	4.5
うち薬品費	393,635	383,621	407,614	6.3	3.6
うち診療材料費	284,683	280,564	302,162	7.7	6.1
減価償却費	207,271	207,280	211,423	2.0	2.0
その他医業費用	492,047	481,849	499,846	3.7	1.6
うち光熱水費	44,825	40,881	44,541	9.0	-0.6
うち委託料	264,704	259,276	266,369	2.7	0.6
e 医業外費用	125,540	134,500	139,466	3.7	11.1
f 特別損失	19,687	40,059	13,535	-66.2	-31.2
医業損益 (a-d)	-178,221	-323,866	-287,159	36,707	-108,938
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-41,823	99,500	207,846	108,346	249,669
純損益 (A-B)	-42,037	101,235	217,231	115,996	259,268
医業収支比率 (a/d)	93.6	88.5	90.2	1.7	-3.4
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	98.6	103.4	106.8	3.4	8.2

【精神科病院】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	22	22	22	-	-
平均病床数	257	257	257	0	0
経常収支赤字病院数	10	6	8	2	-2
経常収支黒字病院数	12	16	14	-2	2
経常収支赤字病院の割合	45.5	27.3	36.4	9.1	-9.1
経常収支黒字病院の割合	54.5	72.7	63.6	-9.1	9.1
A 総収益	1,021,401	1,039,679	1,055,911	1.6	3.4
a 医業収益	768,925	743,479	743,925	0.1	-3.3
入院収益	512,045	493,453	490,111	-0.7	-4.3
外来収益	124,067	117,557	120,117	2.2	-3.2
その他医業収益	132,813	132,469	133,697	0.9	0.7
b 医業外収益	249,634	286,886	310,625	8.3	24.4
c 特別利益	2,842	9,314	1,361	-85.4	-52.1
B 総費用	1,011,459	1,016,236	1,014,969	-0.1	0.3
d 医業費用	981,767	981,144	984,714	0.4	0.3
職員給与費	685,840	683,985	684,332	0.1	-0.2
材料費	65,606	63,482	63,106	-0.6	-3.8
うち薬品費	49,925	47,767	47,156	-1.3	-5.5
うち診療材料費	6,179	7,198	7,798	8.3	26.2
減価償却費	72,099	72,464	73,001	0.7	1.3
その他医業費用	158,222	161,213	164,275	1.9	3.8
うち光熱水費	20,571	19,120	20,748	8.5	0.9
うち委託料	86,658	92,183	92,513	0.4	6.8
e 医業外費用	28,245	27,338	27,046	-1.1	-4.2
f 特別損失	1,447	7,754	3,209	-58.6	121.8
医業損益 (a-d)	-212,842	-237,665	-240,789	-3,124	-27,947
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	8,547	21,883	42,790	20,907	34,243
純損益 (A-B)	9,942	23,443	40,942	17,499	31,000
医業収支比率 (a/d)	78.3	75.8	75.5	-0.3	-2.8
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	100.8	102.2	104.2	2.0	3.4

【重点医療機関】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	231	231	231	-	-
平均病床数	365	363	362	-1	-3
経常収支赤字病院数	137	62	21	-41	-116
経常収支黒字病院数	94	169	210	41	116
経常収支赤字病院の割合	59.3	26.8	9.1	-17.7	-50.2
経常収支黒字病院の割合	40.7	73.2	90.9	17.7	50.2
A 総収益	2,926,675	3,148,591	3,344,813	6.2	14.3
a 医業収益	2,656,747	2,542,018	2,681,168	5.5	0.9
入院収益	1,681,044	1,589,223	1,660,459	4.5	-1.2
外来収益	766,528	747,662	805,342	7.7	5.1
その他医業収益	209,175	205,133	215,367	5.0	3.0
b 医業外収益	250,587	563,390	639,582	13.5	155.2
c 特別利益	19,341	43,183	24,063	-44.3	24.4
B 総費用	2,965,683	3,033,166	3,108,961	2.5	4.8
d 医業費用	2,817,797	2,855,048	2,953,147	3.4	4.8
職員給与費	1,398,916	1,463,799	1,492,458	2.0	6.7
材料費	712,815	697,067	746,446	7.1	4.7
うち薬品費	404,615	394,518	420,512	6.6	3.9
うち診療材料費	295,247	290,442	312,989	7.8	6.0
減価償却費	211,006	210,628	212,972	1.1	0.9
その他医業費用	495,060	483,554	501,271	3.7	1.3
うち光熱水費	44,785	40,680	44,344	9.0	-1.0
うち委託料	268,457	260,719	267,352	2.5	-0.4
e 医業外費用	127,141	136,507	141,727	3.8	11.5
f 特別損失	20,745	41,611	14,087	-66.1	-32.1
医業損益 (a-d)	-161,050	-313,030	-271,979	41,051	-110,929
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-37,604	113,853	225,876	112,023	263,480
純損益 (A-B)	-39,008	115,425	235,852	120,427	274,860
医業収支比率 (a/d)	94.3	89.0	90.8	1.8	-3.5
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	98.7	103.8	107.3	3.5	8.6

【 協力医療機関 】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率：(C)-(B) (B)	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率：(C)-(A) (A)
回 答 病 院 数	35	35	35	-	-
平 均 病 床 数	174	174	174	0	0
経 常 収 支 赤 字 病 院 数	23	14	11	-3	-12
経 常 収 支 黒 字 病 院 数	12	21	24	3	12
経 常 収 支 赤 字 病 院 の 割 合	65.7	40.0	31.4	-8.6	-34.3
経 常 収 支 黒 字 病 院 の 割 合	34.3	60.0	68.6	8.6	34.3
A 総 収 益	1,968,233	2,007,935	2,094,397	4.3	6.4
a 医 業 収 益	1,686,570	1,653,765	1,696,393	2.6	0.6
入 院 収 益	1,065,109	1,038,146	1,055,953	1.7	-0.9
外 来 収 益	451,753	434,103	459,106	5.8	1.6
そ の 他 医 業 収 益	169,708	181,516	181,334	-0.1	6.9
b 医 業 外 収 益	265,158	334,319	393,672	17.8	48.5
c 特 別 利 益	16,505	19,851	4,332	-78.2	-73.8
B 総 費 用	1,977,889	1,994,162	2,013,738	1.0	1.8
d 医 業 費 用	1,904,528	1,906,933	1,938,136	1.6	1.8
職 員 給 与 費	1,072,431	1,090,911	1,102,213	1.0	2.8
材 料 費	357,058	346,228	361,503	4.4	1.2
う ち 薬 品 費	207,249	198,682	202,333	1.8	-2.4
う ち 診 療 材 料 費	138,803	136,512	148,015	8.4	6.6
減 価 償 却 費	148,384	146,746	145,058	-1.2	-2.2
そ の 他 医 業 費 用	326,655	323,048	329,362	2.0	0.8
う ち 光 熱 水 費	35,101	32,168	34,382	6.9	-2.0
う ち 委 託 料	167,731	177,696	180,043	1.3	7.3
e 医 業 外 費 用	67,428	69,258	67,990	-1.8	0.8
f 特 別 損 失	5,933	17,971	7,612	-57.6	28.3
医 業 損 益 (a-d)	-217,958	-253,168	-241,743	11,425	-23,785
経 常 損 益 {(a+b)-(d+e)}	-20,228	11,893	83,939	72,046	104,167
純 損 益 (A-B)	-9,656	13,773	80,659	66,886	90,315
医 業 収 支 比 率 (a/d)	88.6	86.7	87.5	0.8	-1.1
経 常 収 支 比 率 {(a+b)/(d+e)}	99.0	100.6	104.2	3.6	5.2

【その他医療機関】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	18	18	18	-	-
平均病床数	168	163	161	-2	-7
経常収支赤字病院数	14	10	8	-2	-6
経常収支黒字病院数	4	8	10	2	6
経常収支赤字病院の割合	77.8	55.6	44.4	-11.2	-33.4
経常収支黒字病院の割合	22.2	44.4	55.6	11.2	33.4
A 総収益	1,766,094	1,867,701	1,935,123	3.6	9.6
a 医業収益	1,445,288	1,389,736	1,411,533	1.6	-2.3
入院収益	827,487	798,009	800,049	0.3	-3.3
外来収益	434,359	413,790	422,495	2.1	-2.7
その他医業収益	183,442	177,937	188,989	6.2	3.0
b 医業外収益	311,638	450,605	515,048	14.3	65.3
c 特別利益	9,168	27,360	8,542	-68.8	-6.8
B 総費用	1,842,623	1,905,172	1,911,559	0.3	3.7
d 医業費用	1,757,149	1,798,607	1,826,852	1.6	4.0
職員給与費	1,039,483	1,090,378	1,098,693	0.8	5.7
材料費	252,553	235,285	227,860	-3.2	-9.8
うち薬品費	170,859	154,651	146,727	-5.1	-14.1
うち診療材料費	67,858	70,859	73,687	4.0	8.6
減価償却費	120,722	124,261	128,865	3.7	6.7
その他医業費用	344,391	348,683	371,434	6.5	7.9
うち光熱水費	31,937	28,828	31,873	10.6	-0.2
うち委託料	170,741	188,045	199,689	6.2	17.0
e 医業外費用	82,364	86,225	83,907	-2.7	1.9
f 特別損失	3,110	20,340	800	-96.1	-74.3
医業損益 (a-d)	-311,861	-408,871	-415,319	-6,448	-103,458
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-82,587	-44,491	15,822	60,313	98,409
純損益 (A-B)	-76,529	-37,471	23,564	61,035	100,093
医業収支比率 (a/d)	82.3	77.3	77.3	0.0	-5.0
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	95.5	97.6	100.8	3.2	5.3

【 上記以外の医療機関 】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回 答 病 院 数	42	42	42	-	-
平 均 病 床 数	101	100	100	0	-1
経 常 収 支 赤 字 病 院 数	24	28	21	-7	-3
経 常 収 支 黒 字 病 院 数	18	14	21	7	3
経 常 収 支 赤 字 病 院 の 割 合	57.1	66.7	50.0	-16.7	-7.1
経 常 収 支 黒 字 病 院 の 割 合	42.9	33.3	50.0	16.7	7.1
A 総 収 益	1,679,251	1,714,305	1,797,703	4.9	7.1
a 医 業 収 益	1,236,330	1,220,919	1,262,015	3.4	2.1
入 院 収 益	741,263	732,369	744,362	1.6	0.4
外 来 収 益	350,336	341,073	356,899	4.6	1.9
そ の 他 医 業 収 益	144,731	147,477	160,754	9.0	11.1
b 医 業 外 収 益	431,417	481,150	527,692	9.7	22.3
c 特 別 利 益	11,504	12,236	7,996	-34.7	-30.5
B 総 費 用	1,734,150	1,777,105	1,856,203	4.5	7.0
d 医 業 費 用	1,650,079	1,687,397	1,765,206	4.6	7.0
職 員 給 与 費	1,002,507	1,021,489	1,038,037	1.6	3.5
材 料 費	219,072	222,221	224,755	1.1	2.6
う ち 薬 品 費	143,240	141,887	143,370	1.0	0.1
う ち 診 療 材 料 費	67,106	70,643	71,690	1.5	6.8
減 価 償 却 費	98,875	104,697	147,320	40.7	49.0
そ の 他 医 業 費 用	329,625	338,990	355,094	4.8	7.7
う ち 光 熱 水 費	36,434	36,621	39,853	8.8	9.4
う ち 委 託 料	158,842	173,391	183,743	6.0	15.7
e 医 業 外 費 用	78,187	78,338	84,963	8.5	8.7
f 特 別 損 失	5,884	11,370	6,034	-46.9	2.5
医 業 損 益 (a-d)	-413,749	-466,478	-503,191	-36,713	-89,442
経 常 損 益 {(a+b)-(d+e)}	-60,519	-63,666	-60,462	3,204	57
純 損 益 (A-B)	-54,899	-62,800	-58,500	4,300	-3,601
医 業 収 支 比 率 (a/d)	74.9	72.4	71.5	-0.9	-3.4
経 常 収 支 比 率 {(a+b)/(d+e)}	96.5	96.4	96.7	0.3	0.2

【99床以下】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率：(C)-(B) (B)	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率：(C)-(A) (A)
回答病院数	56	56	56	-	-
平均病床数	66	64	61	-3	-5
経常収支赤字病院数	39	32	22	-10	-17
経常収支黒字病院数	17	24	34	10	17
経常収支赤字病院の割合	69.6	57.1	39.3	-17.8	-30.3
経常収支黒字病院の割合	30.4	42.9	60.7	17.8	30.3
A 総収益	1,654,318	1,742,509	1,889,665	8.4	14.2
a 医業収益	1,144,642	1,126,858	1,229,039	9.1	7.4
入院収益	579,677	573,928	613,945	7.0	5.9
外来収益	411,427	397,013	417,708	5.2	1.5
その他医業収益	153,538	155,917	197,386	26.6	28.6
b 医業外収益	466,998	587,026	648,893	10.5	38.9
c 特別利益	42,678	28,625	11,733	-59.0	-72.5
B 総費用	1,709,946	1,783,728	1,880,251	5.4	10.0
d 医業費用	1,618,618	1,669,904	1,775,353	6.3	9.7
職員給与費	947,053	974,917	1,038,930	6.6	9.7
材料費	169,762	165,046	163,581	-0.9	-3.6
うち薬品費	102,790	97,069	90,137	-7.1	-12.3
うち診療材料費	55,393	58,581	64,320	9.8	16.1
減価償却費	130,384	140,934	154,061	9.3	18.2
その他医業費用	371,419	389,007	418,781	7.7	12.8
うち光熱水費	34,294	32,832	37,917	15.5	10.6
うち委託料	178,829	200,234	213,944	6.8	19.6
e 医業外費用	84,820	89,298	91,202	2.1	7.5
f 特別損失	6,508	24,526	13,696	-44.2	110.4
医業損益 (a-d)	-473,976	-543,046	-546,314	-3,268	-72,338
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-91,798	-45,318	11,377	56,695	103,175
純損益 (A-B)	-55,628	-41,219	9,414	50,633	65,042
医業収支比率 (a/d)	70.7	67.5	69.2	1.7	-1.5
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	94.6	97.4	100.6	3.2	6.0

【100床台】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	65	65	65	-	-
平均病床数	155	152	152	0	-3
経常収支赤字病院数	43	28	13	-15	-30
経常収支黒字病院数	22	37	52	15	30
経常収支赤字病院の割合	66.2	43.1	20.0	-23.1	-46.2
経常収支黒字病院の割合	33.8	56.9	80.0	23.1	46.2
A 総収益	2,011,873	2,164,775	2,348,782	8.5	16.7
a 医業収益	1,704,493	1,672,419	1,725,144	3.2	1.2
入院収益	1,013,517	989,490	993,251	0.4	-2.0
外来収益	501,631	488,656	523,599	7.2	4.4
その他医業収益	189,345	194,273	208,294	7.2	10.0
b 医業外収益	291,404	457,496	593,111	29.6	103.5
c 特別利益	15,976	34,860	30,527	-12.4	91.1
B 総費用	2,076,629	2,138,293	2,153,920	0.7	3.7
d 医業費用	1,961,845	2,008,525	2,044,259	1.8	4.2
職員給与費	1,103,933	1,164,187	1,183,045	1.6	7.2
材料費	310,570	308,291	316,668	2.7	2.0
うち薬品費	148,924	143,555	145,430	1.3	-2.3
うち診療材料費	147,718	151,811	158,007	4.1	7.0
減価償却費	151,779	153,797	154,893	0.7	2.1
その他医業費用	395,563	382,250	389,653	1.9	-1.5
うち光熱水費	36,237	33,624	36,306	8.0	0.2
うち委託料	185,180	195,803	199,815	2.0	7.9
e 医業外費用	97,312	101,908	104,584	2.6	7.5
f 特別損失	17,472	27,860	5,077	-81.8	-70.9
医業損益 (a-d)	-257,352	-336,106	-319,115	16,991	-61,763
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-63,260	19,482	169,412	149,930	232,672
純損益 (A-B)	-64,756	26,482	194,862	168,380	259,618
医業収支比率 (a/d)	86.9	83.3	84.4	1.1	-2.5
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	96.9	100.9	107.9	7.0	11.0

【200床台】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	40	40	40	-	-
平均病床数	255	249	249	0	-6
経常収支赤字病院数	25	14	6	-8	-19
経常収支黒字病院数	15	26	34	8	19
経常収支赤字病院の割合	62.5	35.0	15.0	-20.0	-47.5
経常収支黒字病院の割合	37.5	65.0	85.0	20.0	47.5
A 総収益	2,471,710	2,713,435	2,876,414	6.0	16.4
a 医業収益	2,199,149	2,083,594	2,200,108	5.6	0.0
入院収益	1,377,867	1,287,641	1,328,514	3.2	-3.6
外来収益	543,681	520,027	569,766	9.6	4.8
その他医業収益	277,601	275,926	301,828	9.4	8.7
b 医業外収益	252,247	578,457	657,843	13.7	160.8
c 特別利益	20,314	51,384	18,463	-64.1	-9.1
B 総費用	2,520,556	2,619,889	2,680,451	2.3	6.3
d 医業費用	2,421,864	2,485,443	2,558,721	2.9	5.7
職員給与費	1,306,241	1,389,700	1,407,372	1.3	7.7
材料費	444,568	432,184	465,049	7.6	4.6
うち薬品費	240,110	230,772	248,706	7.8	3.6
うち診療材料費	194,159	190,469	205,751	8.0	6.0
減価償却費	195,360	195,895	199,069	1.6	1.9
その他医業費用	475,695	467,664	487,231	4.2	2.4
うち光熱水費	40,986	38,771	42,618	9.9	4.0
うち委託料	225,659	239,188	248,891	4.1	10.3
e 医業外費用	91,875	101,745	104,462	2.7	13.7
f 特別損失	6,817	32,701	17,268	-47.2	153.3
医業損益 (a-d)	-222,715	-401,849	-358,613	43,236	-135,898
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-62,343	74,863	194,768	119,905	257,111
純損益 (A-B)	-48,846	93,546	195,963	102,417	244,809
医業収支比率 (a/d)	90.8	83.8	86.0	2.2	-4.8
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	97.5	102.9	107.3	4.4	9.8

【300床台】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	49	49	49	-	-
平均病床数	340	339	337	-2	-3
経常収支赤字病院数	28	14	4	-10	-24
経常収支黒字病院数	21	35	45	10	24
経常収支赤字病院の割合	57.1	28.6	8.2	-20.4	-48.9
経常収支黒字病院の割合	42.9	71.4	91.8	20.4	48.9
A 総収益	2,571,985	2,829,512	2,983,315	5.4	16.0
a 医業収益	2,311,266	2,222,967	2,321,981	4.5	0.5
入院収益	1,463,336	1,397,845	1,449,821	3.7	-0.9
外来収益	656,706	639,125	674,822	5.6	2.8
その他医業収益	191,224	185,997	197,338	6.1	3.2
b 医業外収益	249,364	555,532	637,614	14.8	155.7
c 特別利益	11,355	51,013	23,720	-53.5	108.9
B 総費用	2,660,198	2,749,877	2,772,397	0.8	4.2
d 医業費用	2,518,261	2,575,230	2,635,559	2.3	4.7
職員給与費	1,309,690	1,383,660	1,404,449	1.5	7.2
材料費	554,269	546,247	571,180	4.6	3.1
うち薬品費	307,016	297,184	308,116	3.7	0.4
うち診療材料費	234,158	237,080	250,944	5.8	7.2
減価償却費	190,515	193,686	195,533	1.0	2.6
その他医業費用	463,787	451,637	464,397	2.8	0.1
うち光熱水費	41,669	38,441	41,483	7.9	-0.4
うち委託料	247,403	257,554	260,580	1.2	5.3
e 医業外費用	115,485	122,244	124,095	1.5	7.5
f 特別損失	26,452	52,403	12,743	-75.7	-51.8
医業損益 (a-d)	-206,995	-352,263	-313,578	38,685	-106,583
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-73,116	81,025	199,941	118,916	273,057
純損益 (A-B)	-88,213	79,635	210,918	131,283	299,131
医業収支比率 (a/d)	91.8	86.3	88.1	1.8	-3.7
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	97.2	103.0	107.2	4.2	10.0

【400床台】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	43	43	43	-	-
平均病床数	447	447	447	0	0
経常収支赤字病院数	23	11	8	-3	-15
経常収支黒字病院数	20	32	35	3	15
経常収支赤字病院の割合	53.5	25.6	18.6	-7.0	-34.9
経常収支黒字病院の割合	46.5	74.4	81.4	7.0	34.9
A 総収益	2,987,302	3,151,735	3,323,782	5.5	11.3
a 医業収益	2,738,968	2,611,630	2,732,653	4.6	-0.2
入院収益	1,703,530	1,612,266	1,669,737	3.6	-2.0
外来収益	820,834	795,590	854,859	7.4	4.1
その他医業収益	214,604	203,774	208,057	2.1	-3.1
b 医業外収益	213,793	500,041	566,042	13.2	164.8
c 特別利益	34,541	40,064	25,087	-37.4	-27.4
B 総費用	2,985,772	3,030,312	3,124,615	3.1	4.7
d 医業費用	2,850,318	2,856,176	2,961,722	3.7	3.9
職員給与費	1,446,364	1,488,017	1,507,034	1.3	4.2
材料費	718,449	697,151	744,162	6.7	3.6
うち薬品費	428,338	416,168	443,655	6.6	3.6
うち診療材料費	278,219	270,204	285,619	5.7	2.7
減価償却費	190,103	182,936	203,642	11.3	7.1
その他医業費用	495,402	488,072	506,884	3.9	2.3
うち光熱水費	44,519	40,637	44,889	10.5	0.8
うち委託料	322,640	256,614	261,670	2.0	-18.9
e 医業外費用	120,321	133,457	143,180	7.3	19.0
f 特別損失	15,133	40,679	19,713	-51.5	30.3
医業損益 (a-d)	-111,350	-244,546	-229,069	15,477	-117,719
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-17,878	122,038	193,793	71,755	211,671
純損益 (A-B)	1,530	121,423	199,167	77,744	197,637
医業収支比率 (a/d)	96.1	91.4	92.3	0.9	-3.8
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	99.4	104.1	106.2	2.1	6.8

【500床以上】	'19年度決算額 (A)	'20年度決算額 (B)	'21年度決算額 (C)	対'20年度比 増減：(C)-(B) 増減率： $\frac{(C)-(B)}{(B)}$	対'19年度比 増減：(C)-(A) 増減率： $\frac{(C)-(A)}{(A)}$
回答病院数	51	51	51	-	-
平均病床数	630	630	630	0	0
経常収支赤字病院数	30	9	0	-9	-30
経常収支黒字病院数	21	42	51	9	30
経常収支赤字病院の割合	58.8	17.6	0.0	-17.6	-58.8
経常収支黒字病院の割合	41.2	82.4	100.0	17.6	58.8
A 総収益	3,531,008	3,756,329	3,985,004	6.1	12.9
a 医業収益	3,250,505	3,102,729	3,285,830	5.9	1.1
入院収益	2,096,702	1,969,486	2,075,879	5.4	-1.0
外来収益	952,633	932,254	1,005,262	7.8	5.5
その他医業収益	201,170	200,989	204,689	1.8	1.7
b 医業外収益	267,649	614,915	677,724	10.2	153.2
c 特別利益	12,854	38,685	21,450	-44.6	66.9
B 総費用	3,564,304	3,614,784	3,718,168	2.9	4.3
d 医業費用	3,381,070	3,407,047	3,534,684	3.7	4.5
職員給与費	1,567,914	1,634,988	1,671,819	2.3	6.6
材料費	1,003,039	976,716	1,051,194	7.6	4.8
うち薬品費	576,462	561,958	600,586	6.9	4.2
うち診療材料費	412,608	401,481	437,770	9.0	6.1
減価償却費	256,192	256,237	251,507	-1.8	-1.8
その他医業費用	553,925	539,106	560,164	3.9	1.1
うち光熱水費	51,760	46,071	49,729	7.9	-3.9
うち委託料	286,166	294,079	303,552	3.2	6.1
e 医業外費用	158,054	166,671	171,823	3.1	8.7
f 特別損失	25,180	41,066	11,661	-71.6	-53.7
医業損益 (a-d)	-130,565	-304,318	-248,854	55,464	-118,289
経常損益 {(a+b)-(d+e)}	-20,970	143,926	257,047	113,121	278,017
純損益 (A-B)	-33,296	141,545	266,836	125,291	300,132
医業収支比率 (a/d)	96.1	91.1	93.0	1.9	-3.1
経常収支比率 {(a+b)/(d+e)}	99.4	104.0	106.9	2.9	7.5

## Ⅱ. 第6波～第7波における活動状況

(第6波：2022年1月1日～6月30日 / 第7波：2022年7月1日～10月31日)

# 新型コロナ疑い患者数①

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）  
2022年7月1日～10月31日（第7波）

【指定医療機関別】	第6波				第7波			
	回答 病院数	新型コロナ 疑い患者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性率 (%)	回答 病院数	新型コロナ 疑い患者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性率 (%)
<b>全 体</b>	<b>274</b>	<b>830,123</b>	<b>124,237</b>	<b>15.0</b>	<b>276</b>	<b>783,982</b>	<b>198,951</b>	<b>25.4</b>
重点医療機関	191	751,263	108,883	14.5	192	702,783	172,515	24.5
協力医療機関	31	32,426	4,864	15.0	30	35,663	11,723	32.9
その他医療機関	18	28,201	7,626	27.0	19	22,371	8,735	39.0
上記以外の医療機関	34	18,233	2,864	15.7	35	23,165	5,978	25.8

# 新型コロナウイルス疑い患者数②

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）  
2022年7月1日～10月31日（第7波）

【種類・病床規模別】	第6波				第7波			
	回答 病院数	新型コロナ 疑い患者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性率 (%)	回答 病院数	新型コロナ 疑い患者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性率 (%)
全体	274	830,123	124,237	15.0	276	783,982	198,951	25.4
一般病院	261	828,058	124,025	15.0	261	781,392	198,710	25.4
99床以下	49	29,718	5,933	20.0	50	37,757	14,624	38.7
100床台	63	105,967	20,456	19.3	62	116,709	42,579	36.5
200床台	35	100,684	19,754	19.6	35	98,609	34,631	35.1
300床台	46	181,620	26,133	14.4	46	167,869	39,446	23.5
400床台	33	181,249	24,741	13.7	33	160,709	36,093	22.5
500床以上	35	228,820	27,008	11.8	35	199,739	31,337	15.7
うち再検証対象医療機関	67	96,870	20,232	20.9	67	101,133	37,640	37.2
精神科病院	13	2,065	212	10.3	15	2,590	241	9.3

# 重症度別の新型コロナ入院患者数①

指定医療機関群ごとの重症度別入院患者数の割合

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）  
2022年7月1日～10月31日（第7波）

【第6波】 【指定医療機関別】	回答 病院数	新型コロナ 入院患者数	小計 (不明を除く)	軽症		中等症		重症		死亡		重症度 不明※ (人)
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
				■		■		■		■		
<b>全 体</b>	<b>264</b>	<b>66,808</b>	<b>59,205</b>	<b>34,756</b>	<b>58.7</b>	<b>21,357</b>	<b>36.1</b>	<b>2,136</b>	<b>3.6</b>	<b>956</b>	<b>1.6</b>	<b>7,603</b>
重点医療機関	211	64,512	56,949	33,583	59.0	20,338	35.7	2,123	3.7	905	1.6	7,563
協力医療機関	28	1,223	1,223	667	54.5	519	42.4	10	0.8	27	2.2	0
その他医療機関	17	960	920	396	43.0	497	54.0	3	0.3	24	2.6	40
上記以外の医療機関	8	113	113	110	97.3	3	2.7	0	0.0	0	0.0	0

【第7波】 【指定医療機関別】	回答 病院数	新型コロナ 入院患者数	小計 (不明を除く)	軽症		中等症		重症		死亡		重症度 不明※ (人)
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
				■		■		■		■		
<b>全 体</b>	<b>286</b>	<b>54,323</b>	<b>47,379</b>	<b>29,239</b>	<b>61.7</b>	<b>16,206</b>	<b>34.2</b>	<b>937</b>	<b>2.0</b>	<b>997</b>	<b>2.1</b>	<b>6,944</b>
重点医療機関	215	51,621	44,711	27,381	61.2	15,468	34.6	930	2.1	932	2.1	6,910
協力医療機関	32	1,631	1,631	1,149	70.4	440	27.0	4	0.2	38	2.3	0
その他医療機関	18	537	503	213	42.3	266	52.9	2	0.4	22	4.4	34
上記以外の医療機関	21	534	534	496	92.9	32	6.0	1	0.2	5	0.9	0

※ 重症度別の患者数が未記入の場合は「不明」としている  
入院中に症状が変わった場合（死亡を含む）、より重症度が高い方に計上しているため重複はない

指定医療機関群ごとの重症度別入院患者の割合

例：[第6波]の重点医療機関の新型コロナ入院患者数（小計）のうち、重症患者数の割合 →  $2,123人 \div 56,949人 \times 100 = 3.7\%$

# 重症度別の新型コロナ入院患者数②

重症度ごとの指定医療機関別入院患者数の割合

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）  
2022年7月1日～10月31日（第7波）

【第6波】 【指定医療機関別】	回答 病院数	新型コロナ 入院患者数	小計 (不明を除く)	軽症		中等症		重症		死亡		重症度 不明※ (人)
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
全体	264	66,808	59,205	34,756	100.0	21,357	100.0	2,136	100.0	956	100.0	7,603
重点医療機関	211	64,512	56,949	33,583	96.6	20,338	95.2	2,123	99.4	905	94.7	7,563
協力医療機関	28	1,223	1,223	667	1.9	519	2.4	10	0.5	27	2.8	0
その他医療機関	17	960	920	396	1.1	497	2.3	3	0.1	24	2.5	40
上記以外の医療機関	8	113	113	110	0.3	3	0.0	0	0.0	0	0.0	0

【第7波】 【指定医療機関別】	回答 病院数	新型コロナ 入院患者数	小計 (不明を除く)	軽症		中等症		重症		死亡		重症度 不明※ (人)
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
全体	286	54,323	47,379	29,239	100.0	16,206	100.0	937	100.0	997	100.0	6,944
重点医療機関	215	51,621	44,711	27,381	93.6	15,468	95.4	930	99.3	932	93.5	6,910
協力医療機関	32	1,631	1,631	1,149	3.9	440	2.7	4	0.4	38	3.8	0
その他医療機関	18	537	503	213	0.7	266	1.6	2	0.2	22	2.2	34
上記以外の医療機関	21	534	534	496	1.7	32	0.2	1	0.1	5	0.5	0

※ 重症度別の患者数が未記入の場合は「不明」としている  
入院中に症状が変わった場合（死亡を含む）、より重症度が高い方に計上しているため重複はない

重症度ごとの指定医療機関別入院患者数の割合

例：[第6波]の重点医療機関に収容された新型コロナ重症患者数の割合 →  $2,123人 \div 2,136人 \times 100 = 99.4\%$

# 重症度別の新型コロナ入院患者数③

病床群ごとの重症度別入院患者数の割合

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）

【第6波】

【種類・病床規模別】

回答 病院数	新型コロナ 入院患者数	小計 (不明を除く)	軽症		中等症		重症		死亡		重症度 不明※ (人)	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
<b>全 体</b>	<b>264</b>	<b>66,808</b>	<b>59,205</b>	<b>34,756</b>	<b>58.7</b>	<b>21,357</b>	<b>36.1</b>	<b>2,136</b>	<b>3.6</b>	<b>956</b>	<b>1.6</b>	<b>7,603</b>
一般病院	247	65,931	58,328	34,166	58.6	21,095	36.2	2,116	3.6	951	1.6	7,603
99床以下	19	528	528	413	78.2	104	19.7	0	0.0	11	2.1	0
100床台	59	5,587	5,070	3,021	59.6	1,962	38.7	9	0.2	78	1.5	517
200床台	37	4,795	4,590	2,477	54.0	1,989	43.3	43	0.9	81	1.8	205
300床台	52	18,264	17,690	12,129	68.6	4,805	27.2	544	3.1	212	1.2	574
400床台	38	10,274	7,870	4,270	54.3	3,285	41.7	164	2.1	151	1.9	2,404
500床以上	42	26,483	22,580	11,856	52.5	8,950	39.6	1,356	6.0	418	1.9	3,903
うち再検証対象医療機関	47	4,675	4,355	2,388	54.8	1,830	42.0	52	1.2	85	2.0	320
精神科病院	17	877	877	590	67.3	262	29.9	20	2.3	5	0.6	0

※ 重症度別の患者数が未記入の場合は「不明」としている  
入院中に症状が変わった場合（死亡を含む）、より重症度が高い方に計上しているので重複はない

病床群ごとの重症度別入院患者数の割合

例：【第6波】の500床以上の新型コロナ入院患者数（小計）のうち、重症患者数の割合 →  $1,356人 \div 22,580人 \times 100 = 6.0\%$

# 重症度別の新型コロナ入院患者数④

病床群ごとの重症度別入院患者数の割合

対象期間：2022年7月1日～10月31日（第7波）

【第7波】

【種類・病床規模別】

回答 病院数	新型コロナ 入院患者数	小計 (不明を除く)	軽症		中等症		重症		死亡		重症度 不明※ (人)	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
<b>全 体</b>	<b>286</b>	<b>54,323</b>	<b>47,379</b>	<b>29,239</b>	<b>61.7</b>	<b>16,206</b>	<b>34.2</b>	<b>937</b>	<b>2.0</b>	<b>997</b>	<b>2.1</b>	<b>6,944</b>
一般病院	263	53,574	46,630	28,742	61.6	15,974	34.3	923	2.0	991	2.1	6,944
99床以下	28	1,093	1,093	961	87.9	121	11.1	0	0.0	11	1.0	0
100床台	65	5,381	5,048	2,888	57.2	2,060	40.8	22	0.4	78	1.5	333
200床台	38	5,775	5,577	3,271	58.7	2,143	38.4	69	1.2	94	1.7	198
300床台	52	15,488	15,051	10,336	68.7	4,211	28.0	278	1.8	226	1.5	437
400床台	38	9,854	8,013	4,955	61.8	2,705	33.8	178	2.2	175	2.2	1,841
500床以上	42	15,983	11,848	6,331	53.4	4,734	40.0	376	3.2	407	3.4	4,135
うち再検証対象医療機関	55	4,060	3,823	2,239	58.6	1,477	38.6	39	1.0	68	1.8	237
精神科病院	23	749	749	497	66.4	232	31.0	14	1.9	6	0.8	0

※ 重症度別の患者数が未記入の場合は「不明」としている  
入院中に症状が変わった場合（死亡を含む）、より重症度が高い方に計上しているので重複はない

病床群ごとの重症度別入院患者の割合

例：【第7波】の500床以上の新型コロナ入院患者数（小計）のうち、重症患者数の割合 →  $376人 \div 11,848人 \times 100 = 3.2\%$

# 重症度別の新型コロナ入院患者数⑤

重症度ごとの病床規模別入院患者数の割合

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）

【第6波】

【種類・病床規模別】

種類・病床規模別	回答 病院数	新型コロナ 入院患者数	小計 (不明を除く)	軽症		中等症		重症		死亡		重症度 不明*
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
全 体	264	66,808	59,205	34,756	100.0	21,357	100.0	2,136	100.0	956	100.0	7,603
一般病院	247	65,931	58,328	34,166	98.3	21,095	98.8	2,116	99.1	951	99.5	7,603
99床以下	19	528	528	413	1.2	104	0.5	0	0.0	11	1.2	0
100床台	59	5,587	5,070	3,021	8.7	1,962	9.2	9	0.4	78	8.2	517
200床台	37	4,795	4,590	2,477	7.1	1,989	9.3	43	2.0	81	8.5	205
300床台	52	18,264	17,690	12,129	34.9	4,805	22.5	544	25.5	212	22.2	574
400床台	38	10,274	7,870	4,270	12.3	3,285	15.4	164	7.7	151	15.8	2,404
500床以上	42	26,483	22,580	11,856	34.1	8,950	41.9	1,356	63.5	418	43.7	3,903
うち再検証対象医療機関	47	4,675	4,355	2,388	6.9	1,830	8.6	52	2.4	85	8.9	320
精神科病院	17	877	877	590	1.7	262	1.2	20	0.9	5	0.5	0

※ 重症度別の患者数が未記入の場合は「不明」としている  
入院中に症状が変わった場合（死亡を含む）、より重症度が高い方に計上しているので重複はない

重症度ごとの病床規模別入院患者の割合

例：【第6波】の500床以上に収容された新型コロナ重症患者数の割合 →  $1,356人 \div 2,136人 \times 100 = 63.5\%$

# 重症度別の新型コロナ入院患者数⑥

重症度ごとの病床規模別入院患者数の割合

対象期間：2022年7月1日～10月31日（第7波）

## 〔第7波〕

【種類・病床規模別】

回答 病院数	新型コロナ 入院患者数	小計 (不明を除く)	軽症		中等症		重症		死亡		重症度 不明※ (人)	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
<b>全 体</b>	<b>286</b>	<b>54,323</b>	<b>47,379</b>	<b>29,239</b>	<b>100.0</b>	<b>16,206</b>	<b>100.0</b>	<b>937</b>	<b>100.0</b>	<b>997</b>	<b>100.0</b>	<b>6,944</b>
一般病院	263	53,574	46,630	28,742	98.3	15,974	98.6	923	98.5	991	99.4	6,944
99床以下	28	1,093	1,093	961	3.3	121	0.7	0	0.0	11	1.1	0
100床台	65	5,381	5,048	2,888	9.9	2,060	12.7	22	2.3	78	7.8	333
200床台	38	5,775	5,577	3,271	11.2	2,143	13.2	69	7.4	94	9.4	198
300床台	52	15,488	15,051	10,336	35.4	4,211	26.0	278	29.7	226	22.7	437
400床台	38	9,854	8,013	4,955	16.9	2,705	16.7	178	19.0	175	17.6	1,841
500床以上	42	15,983	11,848	6,331	21.7	4,734	29.2	376	40.1	407	40.8	4,135
うち再検証対象医療機関	55	4,060	3,823	2,239	7.7	1,477	9.1	39	4.2	68	6.8	237
精神科病院	23	749	749	497	1.7	232	1.4	14	1.5	6	0.6	0

※ 重症度別の患者数が未記入の場合は「不明」としている  
入院中に症状が変わった場合（死亡を含む）、より重症度が高い方に計上しているので重複はない

重症度ごとの病床規模別入院患者の割合

例：〔第7波〕の500床以上に收容された新型コロナ重症患者数の割合 →  $376人 \div 937人 \times 100 = 40.1\%$

# 新型コロナによる診療体制への影響①

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

（複数回答）

**【第6波】**  
【指定医療機関別】

	回答 病院数	病床確保により 病棟・病室閉鎖を実施		新規入院受入停止		外来診療停止		予定手術の 中止・延期		救急受入停止	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
<b>全 体</b>	<b>343</b>	<b>137</b>	<b>39.9</b>	<b>89</b>	<b>25.9</b>	<b>21</b>	<b>6.1</b>	<b>102</b>	<b>29.7</b>	<b>39</b>	<b>11.4</b>
重点医療機関	241	113	46.9	72	29.9	17	7.1	95	39.4	30	12.4
協力医療機関	35	13	37.1	7	20.0	1	2.9	4	11.4	4	11.4
その他医療機関	20	7	35.0	3	15.0	1	5.0	1	5.0	2	10.0
上記以外の医療機関	47	4	8.5	7	14.9	2	4.3	2	4.3	3	6.4

（複数回答）

**【第7波】**  
【指定医療機関別】

	回答 病院数	病床確保により 病棟・病室閉鎖を実施		新規入院受入停止		外来診療停止		予定手術の 中止・延期		救急受入停止	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
<b>全 体</b>	<b>343</b>	<b>170</b>	<b>49.6</b>	<b>148</b>	<b>43.1</b>	<b>28</b>	<b>8.2</b>	<b>146</b>	<b>42.6</b>	<b>66</b>	<b>19.2</b>
重点医療機関	241	141	58.5	113	46.9	22	9.1	133	55.2	47	19.5
協力医療機関	35	17	48.6	14	40.0	3	8.6	8	22.9	12	34.3
その他医療機関	20	7	35.0	5	25.0	1	5.0	3	15.0	1	5.0
上記以外の医療機関	47	5	10.6	16	34.0	2	4.3	2	4.3	6	12.8

# 新型コロナによる診療体制への影響②

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）  
2022年7月1日～10月31日（第7波）

（複数回答）

**【第6波】**  
【種類・病床規模別】

	回答 病院数	病床確保により 病棟・病室閉鎖を実施		新規入院受入停止		外来診療停止		予定手術の 中止・延期		救急受入停止	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
<b>全 体</b>	<b>343</b>	<b>137</b>	<b>39.9</b>	<b>89</b>	<b>25.9</b>	<b>21</b>	<b>6.1</b>	<b>102</b>	<b>29.7</b>	<b>39</b>	<b>11.4</b>
一般病院	318	131	41.2	88	27.7	20	6.3	102	32.1	38	11.9
99床以下	56	9	16.1	6	10.7	4	7.1	4	7.1	5	8.9
100床台	71	23	32.4	19	26.8	1	1.4	13	18.3	9	12.7
200床台	42	24	57.1	14	33.3	2	4.8	15	35.7	7	16.7
300床台	52	23	44.2	13	25.0	5	9.6	19	36.5	4	7.7
400床台	44	22	50.0	16	36.4	5	11.4	19	43.2	5	11.4
500床以上	53	30	56.6	20	37.7	3	5.7	32	60.4	8	15.1
うち再検証対象医療機関	75	24	32.0	15	20.0	3	4.0	11	14.7	9	12.0
精神科病院	25	6	24.0	1	4.0	1	4.0	0	0.0	1	4.0

（複数回答）

**【第7波】**  
【種類・病床規模別】

	回答 病院数	病床確保により 病棟・病室閉鎖を実施		新規入院受入停止		外来診療停止		予定手術の 中止・延期		救急受入停止	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)	(%)
<b>全 体</b>	<b>343</b>	<b>170</b>	<b>49.6</b>	<b>148</b>	<b>43.1</b>	<b>28</b>	<b>8.2</b>	<b>146</b>	<b>42.6</b>	<b>66</b>	<b>19.2</b>
一般病院	318	161	50.6	142	44.7	27	8.5	146	45.9	63	19.8
99床以下	56	9	16.1	15	26.8	5	8.9	4	7.1	11	19.6
100床台	71	31	43.7	32	45.1	3	4.2	26	36.6	14	19.7
200床台	42	27	64.3	19	45.2	2	4.8	20	47.6	9	21.4
300床台	52	30	57.7	34	65.4	6	11.5	35	67.3	17	32.7
400床台	44	27	61.4	18	40.9	7	15.9	23	52.3	5	11.4
500床以上	53	37	69.8	24	45.3	4	7.5	38	71.7	7	13.2
うち再検証対象医療機関	75	24	32.0	25	33.3	5	6.7	15	20.0	17	22.7
精神科病院	25	9	36.0	6	24.0	1	4.0	0	0.0	3	12.0

# 院内感染の発生状況①

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

【 指定医療機関別 】	回答 病院数	第6波		第7波			増減 (病院)	倍率 (倍)	
		(病院)	(%)	(病院)	(%)	(病院)			
全 体	343	139	40.5		238	69.4		99	1.71
重点医療機関	241	113	46.9		191	79.3		78	1.69
協力医療機関	35	10	28.6		18	51.4		8	1.80
その他医療機関	20	7	35.0		9	45.0		2	1.29
上記以外の医療機関	47	9	19.1		20	42.6		11	2.22

# 院内感染の発生による病棟・病室閉鎖①

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）  
2022年7月1日～10月31日（第7波）

【指定医療機関別】	回答 病院数	第6波			回答 病院数	第7波			増減 (病院)	倍率 (倍)
		(病院)	(%)			(病院)	(%)			
全 体	139	102	73.4		238	172	72.3		70	1.69
重点医療機関	113	87	77.0		191	141	73.8		54	1.62
協力医療機関	10	5	50.0		18	10	55.6		5	2.00
その他医療機関	7	3	42.9		9	6	66.7		3	2.00
上記以外の医療機関	9	7	77.8		20	15	75.0		8	2.14

# 院内感染の発生状況②

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

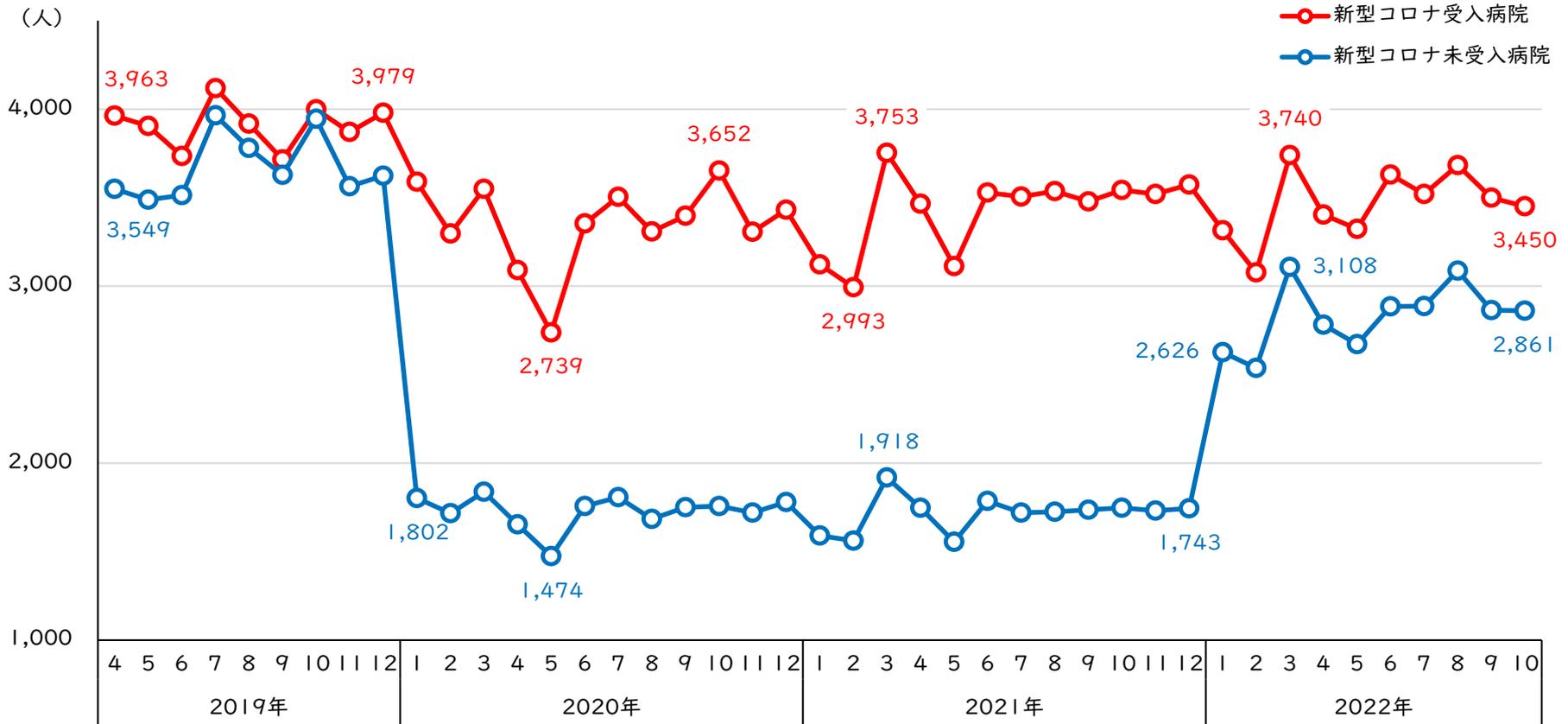
【種類・病床規模別】	回答 病院数	第6波		第7波		増減 (病院)	倍率 (倍)
		(病院)	(%)	(病院)	(%)		
全 体	343	139	40.5	238	69.4	99	1.71
一般病院	318	131	41.2	222	69.8	91	1.69
99床以下	56	7	12.5	16	28.6	9	2.29
100床台	71	21	29.6	44	62.0	23	2.10
200床台	42	19	45.2	32	76.2	13	1.68
300床台	52	23	44.2	45	86.5	22	1.96
400床台	44	27	61.4	37	84.1	10	1.37
500床以上	53	34	64.2	48	90.6	14	1.41
うち再検証対象医療機関	75	21	28.0	36	48.0	15	1.71
精神科病院	25	8	32.0	16	64.0	8	2.00

# 院内感染の発生による病棟・病室閉鎖②

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）  
2022年7月1日～10月31日（第7波）

【種類・病床規模別】	回答 病院数	第6波			回答 病院数	第7波			増減 (病院)	倍率 (倍)
		(病院)	(%)			(病院)	(%)			
<b>全 体</b>	<b>139</b>	<b>102</b>	<b>73.4</b>		<b>238</b>	<b>172</b>	<b>72.3</b>		<b>70</b>	<b>1.69</b>
一般病院	131	99	75.6		222	162	73.0		63	1.64
99床以下	7	3	42.9		16	10	62.5		7	3.33
100床台	21	15	71.4		44	28	63.6		13	1.87
200床台	19	12	63.2		32	22	68.8		10	1.83
300床台	23	17	73.9		45	35	77.8		18	2.06
400床台	27	25	92.6		37	28	75.7		3	1.12
500床以上	34	27	79.4		48	39	81.3		12	1.44
うち再検証対象医療機関	21	15	71.4		36	19	52.8		4	1.27
精神科病院	8	3	37.5		16	10	62.5		7	3.33

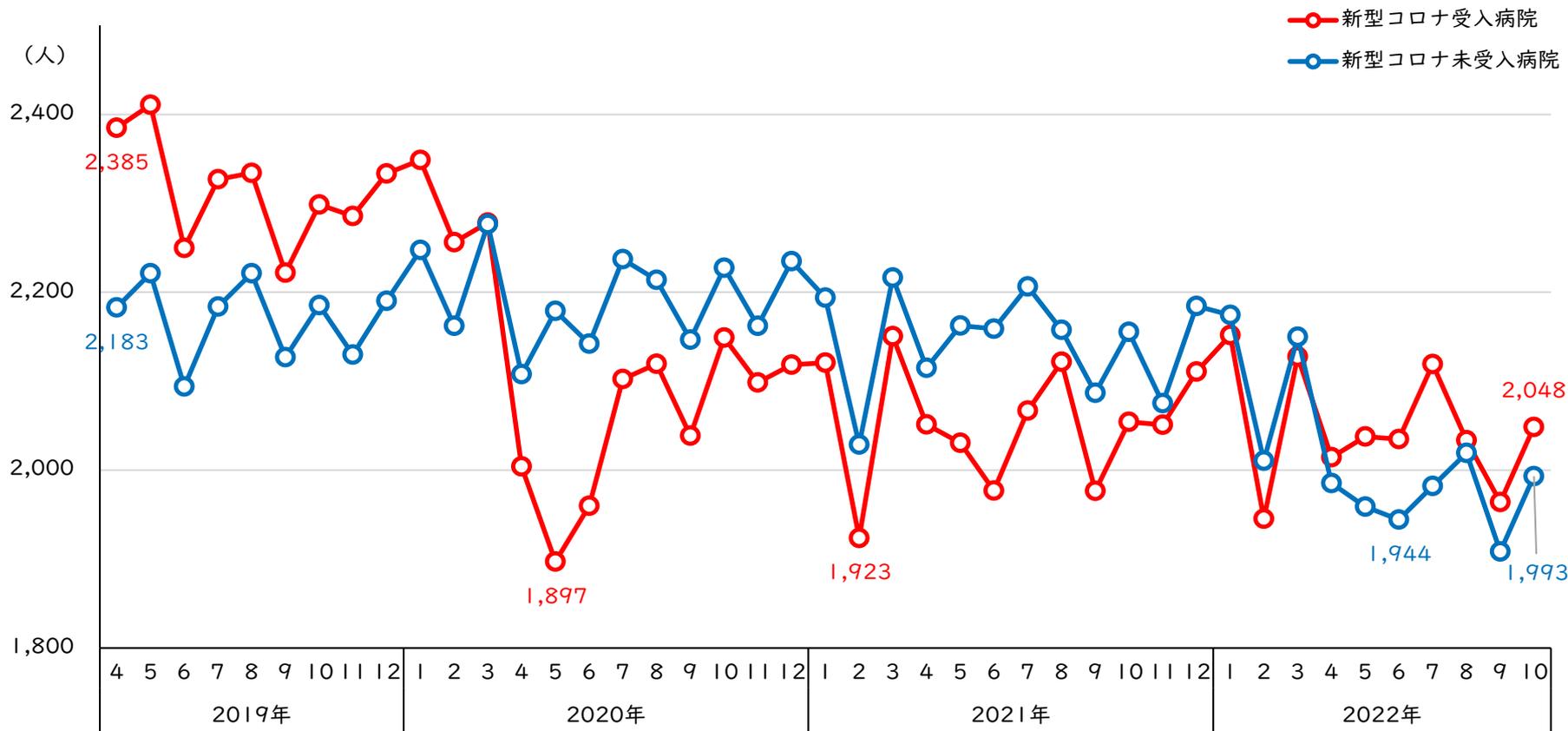
# 100床あたり平均外来患者延数の推移



過去5回の調査結果を  
基に作成

	2019年						2020・2021年		2022年	
	4・5月		6～10月		11・12月		1～12月		1～10月	
	調査①		調査②		調査③		調査④		調査⑤	
	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数
新型コロナ受入病院	241	379	236	374	189	377	324	293	316	317
新型コロナ未受入病院	266	175	176	162	98	133	20	145	26	72

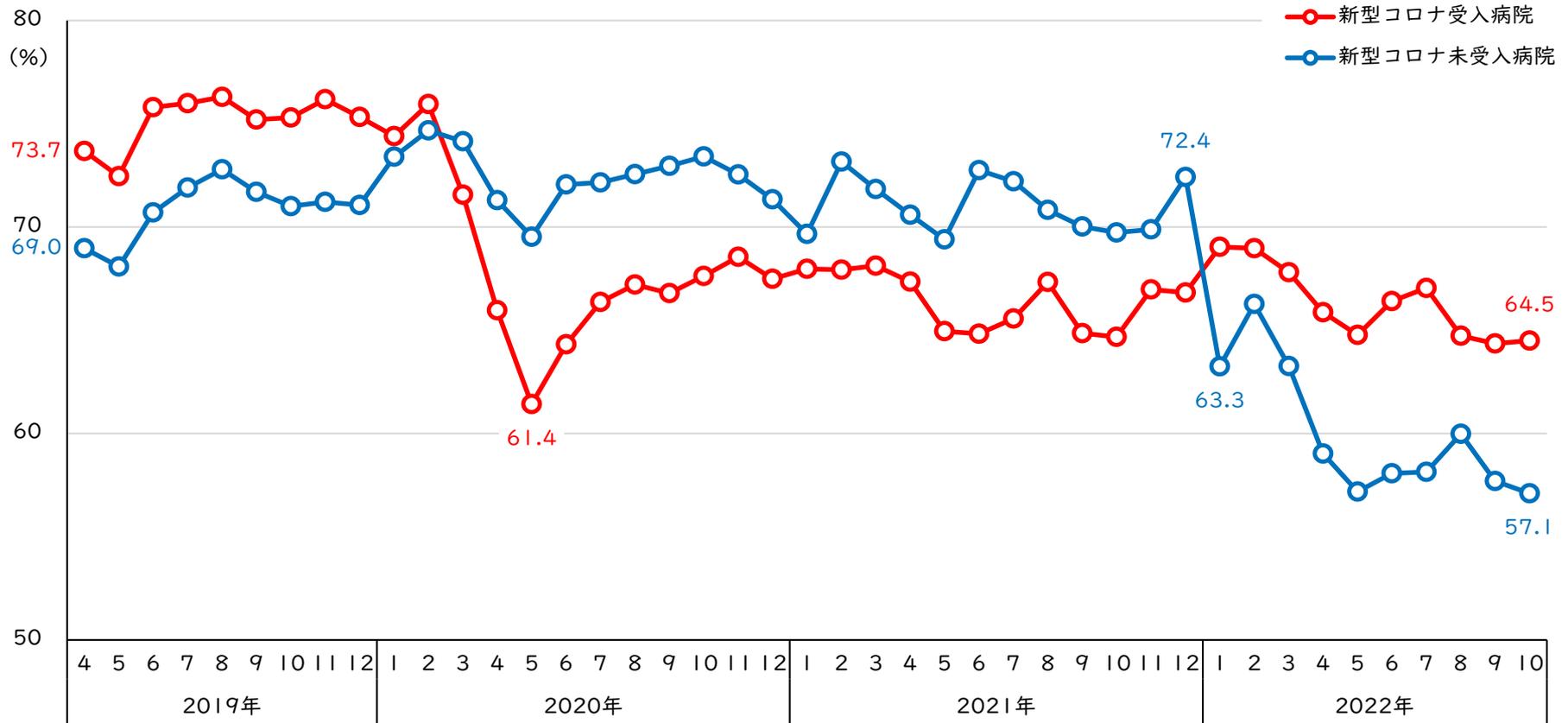
# 100床あたり平均入院患者延数の推移



過去5回の調査結果を  
基に作成

	2019年						2020・2021年		2022年		
	4・5月		6～10月		11・12月		1～12月		1～10月		
	調査①	調査②	調査③	調査④	調査⑤	調査⑥	調査⑦	調査⑧	調査⑨	調査⑩	
	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	
■	新型コロナ受入病院	236	378	236	374	188	379	323	292	316	316
■	新型コロナ未受入病院	267	175	176	162	98	133	20	145	26	72

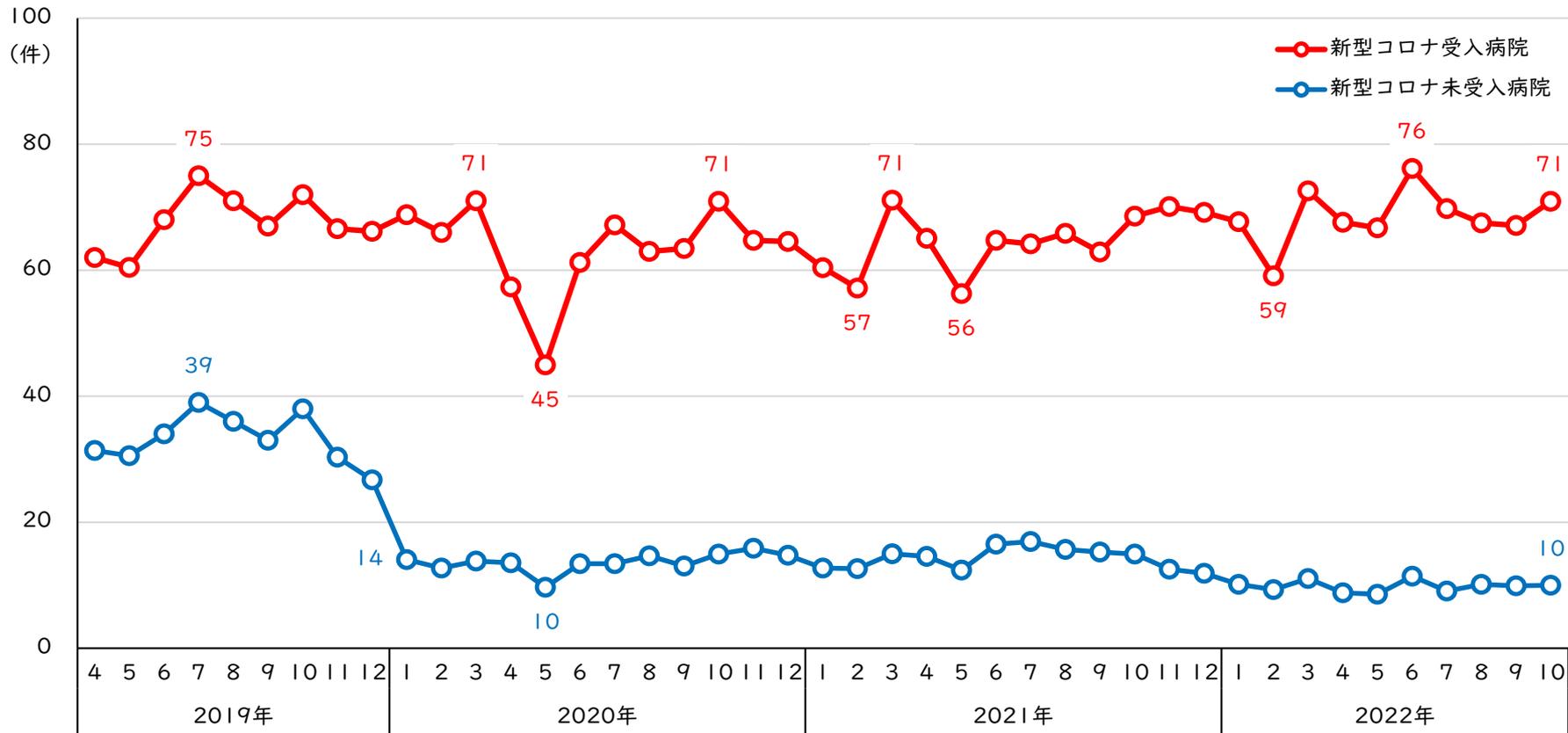
# 100床あたり平均病床利用率の推移



過去5回の調査結果を  
基に作成

	2019年						2020・2021年		2022年	
	4・5月		6～10月		11・12月		1～12月		1～10月	
	調査①		調査②		調査③		調査④		調査⑤	
	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数
新型コロナ受入病院	236	378	235	374	188	379	324	294	317	316
新型コロナ未受入病院	267	175	176	162	98	133	20	145	26	72

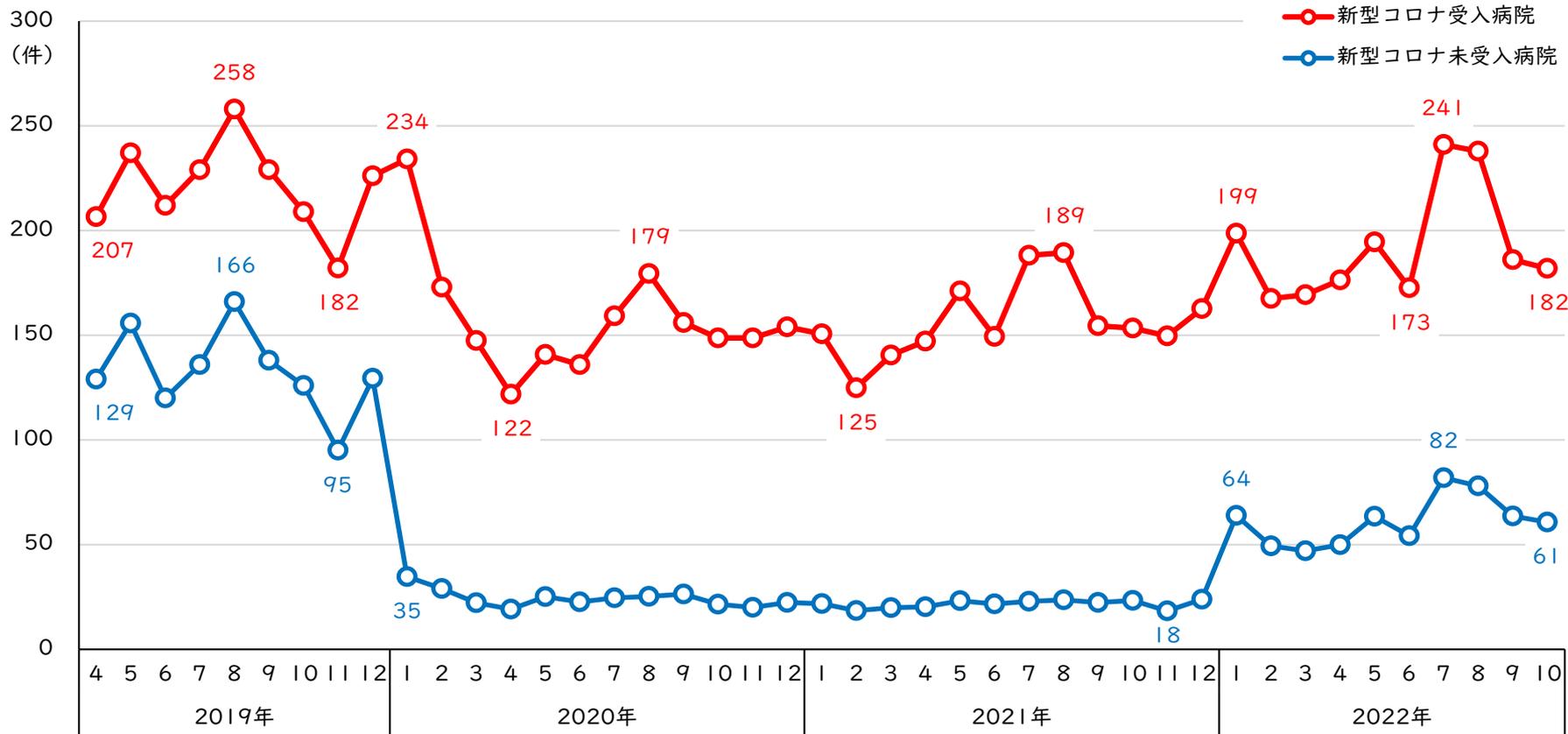
# 100床あたり平均手術件数の推移



過去5回の調査結果を  
基に作成

	2019年						2020・2021年		2022年	
	4・5月		6～10月		11・12月		1～12月		1～10月	
	調査①		調査②		調査③		調査④		調査⑤	
	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数
新型コロナ受入病院	231	388	227	380	181	385	270	318	273	339
新型コロナ未受入病院	177	206	119	187	58	146	7	169	7	120

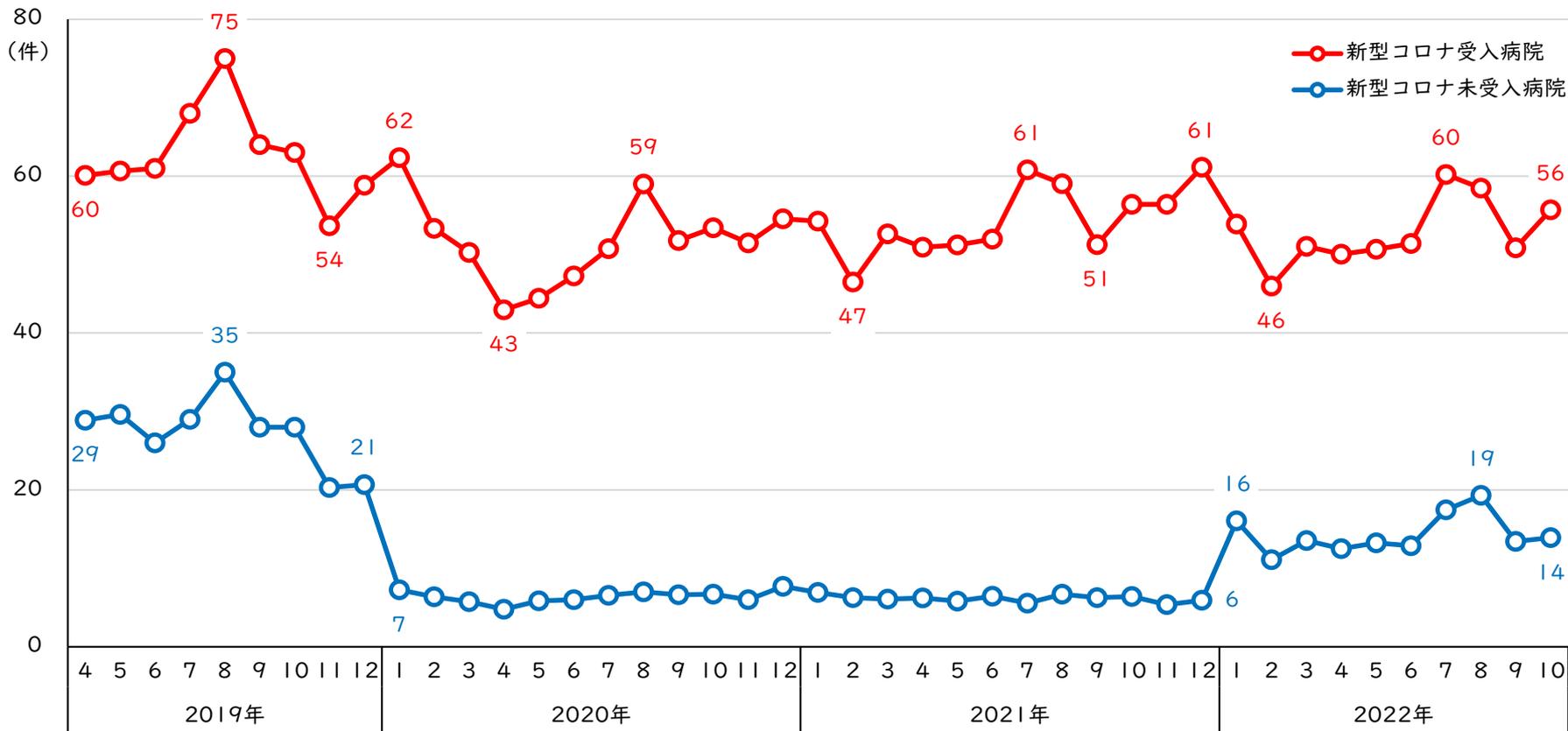
# 100床あたり救急患者受入件数の推移



過去5回の調査結果を  
基に作成

	2019年						2020・2021年		2022年	
	4・5月		6～10月		11・12月		1～12月		1～10月	
	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数
新型コロナ受入病院	236	380	232	377	185	380	313	297	303	324
新型コロナ未受入病院	242	179	161	166	87	135	14	132	24	72

# 100床あたり救急車等受入件数の推移



過去5回の調査結果を  
基に作成

	2019年						2020・2021年		2022年	
	4・5月		6～10月		11・12月		1～12月		1～10月	
	調査①	調査②	調査③	調査④	調査⑤	調査⑥	調査⑦	調査⑧	調査⑨	調査⑩
	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数	回答 病院数	平均 病床数
新型コロナ受入病院	236	380	232	377	185	380	306	301	298	325
新型コロナ未受入病院	242	179	161	166	87	135	15	143	23	73

# 新型コロナ関連の欠勤職員数①

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

[ 感染者として欠勤 ]									
【 指定医療機関別 】	回答 病院数	全職員数	第6波		第7波		増減 (人)	倍率 (倍)	
			(人)	(%)	(人)	(%)			
<b>全 体</b>	<b>270</b>	<b>133,663</b>	<b>7,504</b>	<b>5.6</b>	<b>20,037</b>	<b>15.0</b>	<b>12,533</b>	<b>2.67</b>	
重点医療機関	176	115,122	6,773	5.9	17,682	15.4	10,909	2.61	
協力医療機関	30	7,350	266	3.6	895	12.2	629	3.36	
その他医療機関	17	3,770	197	5.2	504	13.4	307	2.56	
上記以外の医療機関	47	7,421	268	3.6	956	12.9	688	3.57	

[ 濃厚接触者として欠勤 ]									
【 指定医療機関別 】	回答 病院数	全職員数	第6波		第7波		増減 (人)	倍率 (倍)	
			(人)	(%)	(人)	(%)			
<b>全 体</b>	<b>270</b>	<b>133,663</b>	<b>13,513</b>	<b>10.1</b>	<b>17,531</b>	<b>13.1</b>	<b>4,018</b>	<b>1.30</b>	
重点医療機関	176	115,122	12,044	10.5	15,594	13.5	3,550	1.29	
協力医療機関	30	7,350	528	7.2	758	10.3	230	1.44	
その他医療機関	17	3,770	325	8.6	423	11.2	98	1.30	
上記以外の医療機関	47	7,421	616	8.3	756	10.2	140	1.23	

# 新型コロナ関連の欠勤職員数②

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

【感染者として欠勤】 【指定医療機関別】	回答 病院数	全職員数	第6波		第7波		増減 (人)	倍率 (倍)
			(人)	(%)	(人)	(%)		
<b>全 体</b>	<b>270</b>	<b>133,663</b>	<b>7,504</b>	<b>5.6</b>	<b>20,037</b>	<b>15.0</b>	<b>12,533</b>	<b>2.67</b>
一般病院	248	128,599	7,312	5.7	19,297	15.0	11,985	2.64
99床以下	54	4,777	147	3.1	539	11.3	392	3.67
100床台	62	14,962	538	3.6	1,712	11.4	1,174	3.18
200床台	30	13,937	654	4.7	2,149	15.4	1,495	3.29
300床台	40	26,025	1,293	5.0	3,871	14.9	2,578	2.99
400床台	32	27,943	1,912	6.8	4,634	16.6	2,722	2.42
500床以上	30	40,955	2,768	6.8	6,392	15.6	3,624	2.31
精神科病院	22	5,064	192	3.8	740	14.6	548	3.85

【濃厚接触者として欠勤】 【指定医療機関別】	回答 病院数	全職員数	第6波		第7波		増減 (人)	倍率 (倍)
			(人)	(%)	(人)	(%)		
<b>全 体</b>	<b>270</b>	<b>133,663</b>	<b>13,513</b>	<b>10.1</b>	<b>17,531</b>	<b>13.1</b>	<b>4,018</b>	<b>1.30</b>
一般病院	248	128,599	13,026	10.1	16,660	13.0	3,634	1.28
99床以下	54	4,777	301	6.3	449	9.4	148	1.49
100床台	62	14,962	1,085	7.3	1,728	11.5	643	1.59
200床台	30	13,937	1,296	9.3	1,669	12.0	373	1.29
300床台	40	26,025	2,970	11.4	3,792	14.6	822	1.28
400床台	32	27,943	2,786	10.0	3,676	13.2	890	1.32
500床以上	30	40,955	4,588	11.2	5,346	13.1	758	1.17
精神科病院	22	5,064	487	9.6	871	17.2	384	1.79

# 新型コロナ関連で欠勤した職種別職員数

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

n=270（病院）		全職員数					
		全職員数	医師	看護職員	医療技術員	事務職員	その他の職員
<b>全職員数</b>		<b>133,663</b>	<b>17,824</b>	<b>66,821</b>	<b>22,123</b>	<b>15,302</b>	<b>11,593</b>
第6波	感染者として欠勤	7,504	864	4,190	1,136	718	596
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
第7波	濃厚接触者として欠勤	13,513	1,165	7,478	2,315	1,475	1,080
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
第6波	感染者として欠勤	20,037	2,207	11,461	2,927	1,878	1,564
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
第7波	濃厚接触者として欠勤	17,531	1,316	9,722	3,053	1,959	1,481
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)

# 病床ひっ迫を避けるための工夫

【 343回答病院のアンケート自由記載欄より抽出 複数回答あり 】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

## 入院前

自宅（宿泊）・外来療養のみ

12

開業医・施設医との調整または介入で入院抑制

12

## 入院後

一般患者の入院抑制・退院促進

49

早期退院・自宅療養移行

48

後方支援病院への転院

30

保健所との連携で入退院調整

8

# 自院の病床がひっ迫しないよう工夫されたこと①

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
99床以下	重点医療機関	コロナ治療薬等の投与により、症状が安定した患者は積極的に後方施設への下り搬送を実施。また、自宅療養が可能となった患者についても自宅療養とした。自宅療養患者は県の自宅療養支援センターがフォローする体制を構築されており、入院患者への対応に重点を置くことができたことから受入医療機関にとっては、非常に助かっている。
100床台	重点医療機関	地域の病院として、基本的には全件受入を行ってきた。看護師の配置調整が必要な場合は保健所と調整を行い病床利用率が膨れないように連携を行った。
100床台	重点医療機関	医療圏内の行政、医師会、主要医療機関にて、感染拡大時には毎日ビデオ通話を利用し情報共有を行い、後方支援病院等への転院等の促進図った。
100床台	重点医療機関	緊急を要しない手術、検査を延期したり、入院が必要な患者さんに何日か外来通院してもらったり、早期退院を促し、病床利用率を下げる工夫をした。
100床台	重点医療機関	地域の医療機関や施設等に病床ひっ迫状況を地元の医師会を通じて発信した。また、連携を密にしながら、早期の退院、転院をすすめ、在院日数の短縮を図った。当院は、地域で唯一の総合病院であり、24時間365日救急患者を受け入れているため、救急受け入れの停止はできない。地域の関係機関の協力がなければ乗り越えることができなかつたと考える。
200床台	重点医療機関	COVID-19受け入れ病床を効率よく利用する為、急性期治療が終了した患者に対し、自宅療養への移行を積極的に実施した。COVID-19入院患者数に応じ病床数を調節し病床ひっ迫を予防した。
200床台	重点医療機関	新型コロナウイルス感染症受け入れ病床では、入院時の病状により可能と判断した場合は一定の治療を実施した後、自宅療養もしくはホテル療養への切り替えを、感染隔離期間中であっても行う旨説明を実施した。その他、一般病床においてはオンライン面会を利用するなど在宅側スタッフとの連携を密にし、退院支援を強化した。
300床台	重点医療機関	予定していた入院を2/3に制限し、各病棟80%の稼働とするよう医師、看護師長へ発信。普通入院としていた大腸ポリープ切除を日帰りに切り替えた。施設等への転院待ち患者については、回りハの空床に転室し一般病棟の病床を確保した。

# 自院の病床がひっ迫しないよう工夫されたこと②

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
300床台	重点医療機関	院内クラスターの発生時には、院内感染が収束するまでの期間、新規の入院患者や発熱などの症状がある救急患者の受入を停止した。また、緊急性の高い場合を除いて予定手術を中止し、入院患者の転院・退院調整を行った。陽性が判明した入院患者はコロナ専用病棟へ転棟することで対応したが、感染拡大に備えてコロナ病床の増床や一般病棟での個室対応を検討した。一方で、緊急性の高いがん患者や妊婦の救急対応は継続し、基幹病院として地域の医療提供体制の確保に努めた。
300床台	重点医療機関	適切な治療が終了し、医師の許可が得られた患者は、すみやかに在宅療養へ移行、または協力医療機関へ転院調整を行った。
400床台	重点医療機関	患者の状態に応じて、入退院支援センター等の職員が早期に介入し、積極的に転院先の調整業務を行った。その結果、新型コロナウイルス感染症の隔離期間が終了した患者および、引き続き入院を必要とする患者の退院先をスムーズに整えることができた。
400床台	重点医療機関	コロナ専用病棟を運用するため、その病棟の当該科の患者を他病棟で受け入れる体制を整えた。地域の中で三次救急・高度医療の役割があるため、当該科以外の入院患者を各病棟が受け入れるにあたり予約入院の調整や早期退院を検討した。職員の感染予防を教育し医療ができる体制を守った。しかし、コロナに対する認識が社会と病院内で乖離があり、職員には大変な葛藤があった。
400床台	重点医療機関	第6波～第7波の期間中は常に病床が逼迫していましたが、50床規模の1病棟を閉鎖し、コロナ専用病棟および一般病棟に看護師を再配置するとともに、限られた病床数でできる限り多くの一般病棟の患者を受け入れるため、病床回転率を上げて運用しました。
400床台	重点医療機関	他の一般病床の入院患者を7割にまで下げて、一般病床でコロナ受け入れ病床を確保した
500床以上	重点医療機関	急を要さない手術・検査については、可能な限り延期することで、入院患者数を抑えることができた。また、感染症患者の受入病床を常に確保しておくために、入院から10日程度が経過してウイルス伝播の恐れが無くなった感染症患者については、各科の協力の下、感染症病床から一般病床に積極的に転棟させた。

# 自院の病床がひっ迫しないよう工夫されたこと③

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
500床以上	重点医療機関	<p>第3波から第6波までは当院の近くで感染者対応の療養施設を県が確保し、他のホテルと異なり、感染者対応経験のある当院の看護師を常駐させ、院外の付属療養施設的に活用した。症状が悪化した感染者を看護師が直接対応し、不安感、症状が軽減し、病院への搬送数を80%以上減少させた。さらに24時間対応で、オンラインで医師が診察できるようにすることで、感染者の状態を的確に把握し、適切な時期に病院に搬送することができた。日勤帯は当院医師がホテル内で直接診療し、薬剤投与を行った。また病院で薬物を点滴投与後にホテルで経過観察することで入院の増大を抑制できた。</p> <p>感染者（自宅療養者）の健康チェックを保健所に代わって当院の看護師、事務員、看護師OB、看護学生、市からの派遣外国語対応事務員などにより、1日200人以上に対応して行った。</p> <p>医療圏域内での年末年始の発熱外来を行った。地域で対応されなかった発熱者を当院の医師、看護師を病院外の施設で、診察、処方を行うことで、救急外来受診者を抑制できた。</p> <p>施設、自宅から救急搬送された感染者が入院適応なしと判断した時は、当院職員が施設まで搬送し、帰宅困難からの入院を抑制できた。</p> <p>急性期の治療必要時を当院で治療し、安定した時点で、近隣病院にすみやかに転院できるシステムを確立していたことで、感染者の在院日数を短縮できた。</p> <p>医療圏域内の老健などの施設の感染講習会、施設内での感染対策指導を再度行なった。（第3波の前にも行った。）また施設管理者、嘱託医に施設内感染クラスター発生時において酸素投与、補液投与をできる環境を作り、隔離解除後の感染者を速やかに受け入れてもらうようお願いすることで対応できる施設が増加した。</p>
500床以上	重点医療機関	<p>病床利用率や重症者数に応じて、受け入れ件数を決めている。</p> <p>コロナ病床患者は、罹患前の状態には回復しないことが多くなかなか退院できない。病状安定後や隔離解除後に退院や元の施設に戻れない場合は、後方病院に依頼し、病床を空けるようにした。非コロナ患者は、病床が逼迫している時には、入院を先送り出来る患者はそうようにし、緊急入院の病床を空けるよう工夫した。地域の医療機関には、現状をお知らせして協力を得るように心がけた。</p>

# 自院の病床がひっ迫しないよう工夫されたこと④

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
500床以上	重点医療機関	<p>施設支援により入院患者数を抑制した。地域の高齢者施設等で陽性者が発生した場合に医療チームを派遣し迅速介入を行い、施設のクラスター対策および施設内療養を支援することで、入院患者数を抑制した。</p> <p>入院待機施設の後方病床的利用により受入病床を確保した。流行極期には、入院患者が隔離期間を残して状態改善したら重点医療機関から入院待機施設へ下り搬送することで、受入病床を確保した。</p>
500床以上	重点医療機関	<p>当院は、県内で最も多くのコロナ患者を受け入れる重点医療機関であるとともに救命救急センターを設置していることから、コロナと救急対応を中心として病床運用を行ってきた。そのなかで、予定入院や予定手術を延期したり、またできる限りコロナ患者や一般患者の在院日数を短縮することで病床の逼迫を回避する努力を行った。</p> <p>一方で、後方支援病院も院内感染などで受け入れ病床が縮小し、円滑な転院ができず空床確保に難渋した。今後COVID-19の感染症法上の位置づけが5類相当になった場合には、医療従事者や入院患者にコロナ感染者が増加することが容易に想像されることから、医療機関内での感染対策をこれまでの様に行えば今以上の病床逼迫は回避できず、またすべての医療機関での対応は困難になると思われる。従って、いかに医療機関における感染対策を緩和するのが医療逼迫を回避する上で極めて重要な論点になると思われる。</p>
精神科病院	重点医療機関	<p>当院は精神科単科の病院であり、新型コロナに係る治療は困難であるが、精神疾患を有する新型コロナ陽性者の受け皿となる医療機関が必要であったため、やむを得ない対処として「新型コロナ陽性でもほぼ無症状で、なおかつ措置入院又はそれに準ずるような精神疾患を有する者」に限って受け入れることとした。患者の受入病床は、現在稼働する病棟から離れた休止病棟の一部を急遽改修して稼働させたため、一般精神科病床のひっ迫といった状況には至らなかった。</p>
精神科病院	重点医療機関	<p>自院で発生したクラスターでのコロナ患者をコロナ病棟に移さず発生病棟にとどめおいてコホートし、確保病床として用意していた病床を他院から受け入れられるように確保していた。</p>

# 自院が後方支援医療機関として、重点医療機関等の 病床がひっ迫しないよう工夫されたこと

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
99床以下	上記以外の医療機関	転院の依頼から、早めに受け入れできるようベッドコントロールを実施。
99床以下	上記以外の医療機関	要請があった場合は可能な限り受け入れられるよう陰圧装置の導入を行う等、体制を整えていた。
99床以下	上記以外の医療機関	近隣の県立病院の地域連携室と情報を共有し、転院や入院患者の受け入れを円滑にしている。
100床台	上記以外の医療機関	当院は医療療養型に特化した病院であり、平時から市内公的病院等と緊密に連携をとりながら地域の慢性期医療ニーズに対応している。コロナ禍においても、常に連携をとりながら当院の果たすべき役割を担っているところである。
100床台	上記以外の医療機関	隔離期間終了後即時に患者受け入れが可能となるよう連携室において早期に転院調整を行うなど、可能な限り紹介患者の受け入れを実施した。
100床台	上記以外の医療機関	ダイレクトに医師同士が連絡を取り合えるようにした。
200床台	上記以外の医療機関	急性期医療機関（新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ病院）の病床利用率を下げることを目的として、新型コロナウイルス感染症回復後にリハビリテーションが必要な患者の受け入れを行っている。

# 協力医療機関の病床確保料の廃止（2022年9月30日） による今後の経営への影響についての懸念等①

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年10月31日時点

※ 重点医療機関と重複して指定されている場合あり

病床規模	指定医療機関	回答内容
99床以下	協力医療機関	病床確保料が廃止されたとしても、感染病床の確保が不可欠であることから、院内病床の稼働率の低下が危惧される。
100床台	協力医療機関	当院はコロナ受入病床を確保する協力医療機関のため、現在、県内のコロナ関連医療状況（フェーズ）により、コロナ受入病床にて疑似症患者向け病床を兼ねている状態となっている。このため、経営上の影響は限定的だが、今後、フェーズが低下した場合にも受け入れ病床と兼ねる形とするか検討が必要である。
200床台	重点医療機関	病床確保料がなくなってしまうため、9月30日までは協力医療機関であった（緊急フェーズのみ重点医療機関）が、10月1日からは全フェーズで重点医療機関として病床を確保することとなった。小児のコロナ患者を受け入れ可能な施設は少ないため、協力医療機関であっても小児病院については病床確保料を継続できるような判断をしてほしかった。
200床台	重点医療機関	協力医療機関の指定を受けている病床は、救急外来と併設している病棟であり、発熱、コロナ感染者等の救急患者を受け入れるには必要な病床であった。また、24時間365日救急外来を感染対応を実施しながら運用していくには、基本的に空床にしておく必要がある。その様な中、協力医療機関に対する空床確保料の廃止は、そもそも不採算部門である救急医療の更なる経営悪化につながっている。今後のコロナ疑い、罹患患者の救急患者受入を継続しなければならぬ病院にとっては、さらに厳しい状況になると考えている。
300床台	重点医療機関	令和3年度は、補助金により収支が大幅に改善した。しかし令和4年度には、補助金がほぼ半減したことにより、収支バランスがマイナスになる見込である。今後さらに補助金が全面的に廃止となれば、令和5年度の収支が大きく落ち込み病院経営上危機的状況に陥る可能性がある。その場合は新型コロナウイルス感染症の診療を大幅に制限せざるを得なくなると思われる。
300床台	重点医療機関	協力医療機関としては、病床確保料は廃止されたものの、入院治療が必要な疑似症患者向けに病床を確保しておく必要がある。しかしながら、収入補填の無いまま病床確保を継続することは経営上困難である。未だに収束の目途が立たない事を踏まえても、協力医療機関に対する経営的支援を改めて検討すべきと思われる。

# 協力医療機関の病床確保料の廃止（2022年9月30日） による今後の経営への影響についての懸念等②

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年10月31日時点

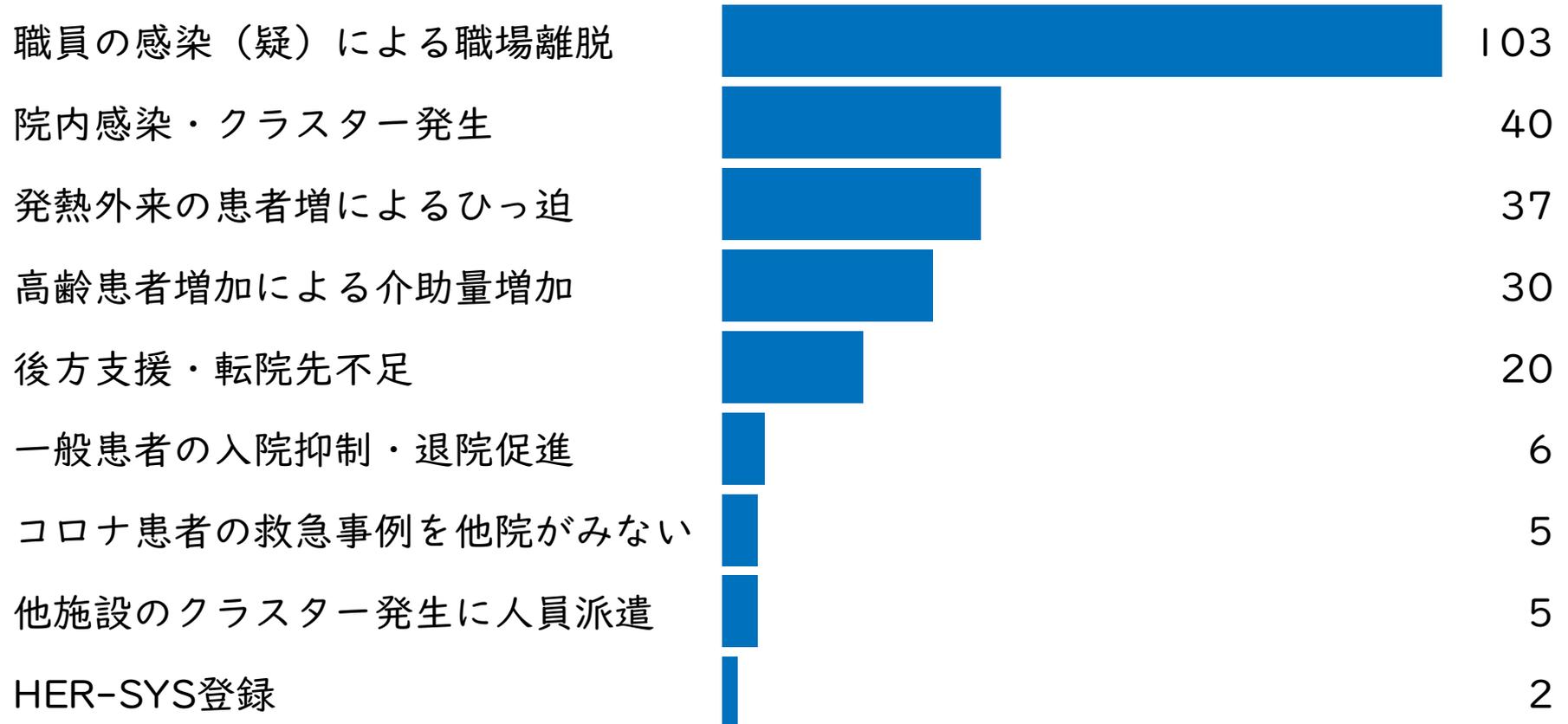
※ 重点医療機関と重複して指定されている場合あり

病床規模	指定医療機関	回答内容
400床台	重点医療機関	当院は重点医療機関と協力医療機関の両方指定を受けており、主に重点医療機関の役割を果たしているため、現状の体制では経営への影響は軽微であると考えます。しかしながら、今後さらなる体制の確保が必要になった場合は、空床にともなう収入源により、経営に影響するものと思われる。
500床以上	重点医療機関	第6波～第7波では、救急搬送患者が、初療中にコロナ感染が判明するケースが多発。三次救急を担う当院では、疑い病床の廃止後も、それまでと同様の利用をせざるを得ないことから、病床確保料の廃止は、令和4年度収支に少なからず影響を及ぼすと思われる。
500床以上	重点医療機関	協力医療機関の病床確保料が廃止となり、その他病床での病床確保料となったため、病床確保に対する1床あたりの補償額が約3万円下がり減収となるため、病院経営への影響が懸念される。
精神科病院	協力医療機関	病床確保料が約3分の1となり、決算への影響が懸念される。
精神科病院	協力医療機関	疑い患者に対しての受入は変わらず発生しているため、検査の手間や他の患者とのエリア分けなどは必要であり、人手や衛生材料等のコストは変わらない。また、疑い患者に対応する場合においても、PPEを着用するなど、職員への感染対策等は変わらないため、対応した職員については、独自財源で危険手当を支給している。今後、補助金がなくなることで、これらの費用は病院負担として発生している。

# 対応に苦慮したこと

【 343回答病院のアンケート自由記載欄より抽出 複数回答あり 】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）  
2022年7月1日～10月31日（第7波）



# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など①

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
99床以下	重点医療機関	院内クラスター発生に伴い、職員の出勤が困難になり人員不足が生じたこと。
99床以下	重点医療機関	職員等への感染が拡大し、欠勤者が増える中、地域の感染者等への対応、通常の診療を少ない人数で行わなければならないこと。介助が必要な高齢の患者が多いこと。
99床以下	重点医療機関	クラスターへの対応、コロナ感染症病棟の人員の確保。
99床以下	重点医療機関	コロナ患者の入院受入当初は軽症者の患者が多く意思疎通がとれる患者が多かったが、その後に入院対象となる基準が変更（高齢者でコロナ治療薬の投与が必要な方等）になったことで、認知症の患者やせん妄となる患者が増加した。このため、認知症等の患者が他の病棟などの清潔区域（グリーンゾーン）へ無断で移動される事案が多くなってきている。
99床以下	上記以外の医療機関	第7波では、院内クラスターが発生し、看護師、看護補助者の半数近くの職員が新型コロナウイルス感染症に感染したことにより、深刻な人手不足に陥った。この期間、自治体から看護師の支援、派遣会社から看護師の派遣を受けて対応した。 常勤医1人体制のため、医師が感染した場合に、すぐに対応できる医師を確保できるかが課題となっている。
100床台	重点医療機関	感染状況に応じ、新型コロナウイルス感染症病棟及び病床を確保するため、診療体制や感染対策などへの人的並びに物的対応等に苦勞した。スタッフのコロナ感染や濃厚接触者としての自宅待機で欠勤が相次ぎ、人員配置を含め業務の維持・継続に大変苦勞した。
100床台	重点医療機関	元々医療機関が少ない地域においては、通常の転院にも課題があり、コロナに関する転院については、さらに課題が大きい。現実的には、一時的に確保病床以上に受け入れる等して対応した。
100床台	重点医療機関	介護度が高い患者が多く、人員の確保に苦勞した。一般病棟や療養病棟がひっ迫する状況があった。
100床台	重点医療機関	濃厚接触者や陽性者となった場合の待機期間や療養期間が長く、特に看護師のシフトの急な変更や複数人休んでいる期間の人のやり繰りが大変だった。同居家族からの感染や同居家族との濃厚接触はなかなか防げない。

# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など②

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
100床台	重点医療機関	<p>コロナ陽性で二十数件の病院に救急要請を断られた方を受け入れた後、入院が必要になり、当院が満床で県に入院調整してもらう何時間かを点滴しながら待つ場所の確保に苦勞した。</p> <p>老人保健施設内でクラスターが発生し、数十人規模で感染が起こり、入院が必要でもベッドがなく、施設に訪問診療に出かけ、治療を行った。施設内の感染対策の難しさを痛感した。</p> <p>職員はコロナ陽性者より濃厚接触者の自宅待機者が多く、濃厚接触者の自宅待機者の多くは発症しなかったため検査して従業させたかったが、PCR検査キットの納入数に限りがあり、検査もできず従業者の確保に苦勞した。</p> <p>コロナ患者の看護をしたら、一般の患者の看護ができないので、ただでさえ少なくなっている看護師数に加え夜勤回数が12～15回/月に増え、防護具に身を包んだ看護師の疲弊は日に日に増していき、精神的負担を取り除く方法がなく苦勞した。</p> <p>コロナ治療後、衰弱してご飯が食べられなくなり、退院出来なくなる患者が多く、益々ベッドコントロールが難しくなった。</p> <p>2次医療圏を超えて入院してきたコロナ患者の療養先と連携しにくく、入院が延長した。入院時に県の調整本部があるなら、せめて2次医療圏を超えて入院してきた患者については、退院先も調整してくれる機関があればいい。</p>
100床台	重点医療機関	<p>新型コロナウイルス感染症で入院する患者は、高齢で介護度が高く、看護師がケアする時間と密接度が高くなり看護師が疲弊した。また、祝休日を含め発熱外来受診者が増えたため、医師、看護師等人員を投入する必要があったが、支援しようにも職員が感染したり、濃厚接触者となりマンパワーが不足しているためそれぞれでやりくりするしかなかった。地域における当院の役割の大きさから、積極的な診療制限には踏み切れないが、役割機能を維持しながら、状況に応じて、柔軟に対応していくことが課題と考える。</p>
100床台	重点医療機関	<p>高齢で介護が必要な患者が多くなり、また認知症がある方がほとんどであり、ADL全介助だった。治療より食事・排泄の世話に追われスタッフの疲労も多く、増員して対応したり、勤務時間の変更を余儀なくされた。</p> <p>施設や病院でのクラスターでの入院が増え、退院の受け入れが困難な事例が多く後方支援病院などへの調整が必要なことが多くあった。</p>

# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など③

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
100床台	協力医療機関	当院に入院したコロナ感染症後の患者は、高齢者がほとんどで隔離解除後もすぐに在宅に戻れない場合が多く入院継続のため移動する部屋の確保が困難な時期があった。コロナ感染症の病床は、建物の構造上緩和ケア病棟を半分使用していたため、本来緩和病棟入院の対象患者（当院かかりつけ）が入院できず一般病棟で最期を迎えることになった。緩和ケア病棟転院希望も受けられなかった。緩和ケア病棟看護師は、コロナ患者と緩和の患者の両方を看護することにジレンマがあり退職者が出ることになった。病院全体の看護師数に余裕はなく、勤務異動も難しく看護師のストレスとなった。
100床台	その他医療機関	職員が家族から感染し業務から離脱する。家族からの感染は防げず人員配置に苦慮した。無症状者からの感染と思われる感染者が増えてPPEを見直したがPPEのコスト問題は継続している。換気対策が建物の老朽化により難しく、代替え対策が課題になっている。
100床台	その他医療機関	第7波のはじめ、1日のコロナ検査の制限を行わず、実施していたが、一般の診療もできないくらいの検査希望があり、制限をせざるを得ない状況となった。また、感染対策から検査希望者とは電話での問診となったため、電話回線がパンク状態となり、患者からは、病院へ電話してもつながらないとの苦情が増え、その対応に苦慮した。
100床台	上記以外の医療機関	当院は医療療養型に特化した病院であり、入院患者に万一感染が発生した場合は重症化のリスクが高いとされる高齢の患者がほとんどであるため、徹底した水際対策を行っているが、院内感染が発生した場合は、通常の外来診療がないことから、他部署からの応援体制も乏しく、病院運営を継続させること（人員確保等）に苦慮しているところである。
200床台	重点医療機関	受入患者のほとんどが超高齢患者であり、看護体制を確保するため、一般病棟からスタッフを配置している。結果として、一般病棟の入院を制限せざるを得ず、入院収益が減少している。
200床台	重点医療機関	療養解除後の患者で自宅に戻れない患者の転院先が見つからず、転院調整に苦勞した。コロナ関連休みを取得する職員が増加したことで、一般患者の受け入れ数が制限されてしまう。コロナによる肺炎よりも、誤嚥性肺炎の割合が増加しているため、コロナ療養期間が終了しても療養が必要な患者が増えている。

# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など④

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
200床台	重点医療機関	波を追うごとに新型コロナ入院患者の平均年齢は高くなっており、平均年齢は第6波が66.9歳、第7波が77.4歳である。患者の高齢化に伴い、介護度の高い患者や認知機能が低下した患者も多く、看護師の負担が大きくなった。なお、第8波の平均年齢はさらに高齢化し85.4歳である。感染が拡大すると時間外や深夜に入院する割合も増え、3か月程度の間、ほぼ毎日連続する。
200床台	重点医療機関	職員の人員不足に苦勞しました。職員の感染や濃厚接触者の自宅待機のため勤務者が不足しました。各部署3～4人の欠員が常態化する中で、医療を確保するために病棟、部署間で応援体制を整える人員の調整を毎日行っている。課題は入院前検査においてコロナ陽性が判明すると入院できないか、もしくはコロナの治療が優先となる。患者が本来必要としている治療が後回しになっている。コロナ患者の中で、入院となる方は介護度の高い高齢患者が多く、ケアをする看護師が多く必要となる。通常診療も維持するにはコロナ病棟ばかりに多くの看護師を配置できないため、コロナに対応する看護師の負担が大きい。
300床台	重点医療機関	約38,000人の人口を抱える中、市内で当院が一元的にコロナウィルス感染症に対応したが、感染症病床を持たないため、陽性患者の入院、検査、透析などの導線の確保に多くの人と時間を要した。また、市内の高齢者施設等のクラスターが発生した場合、準備していた病床が不足した。仮に増床して対応した場合、一般入院患者に影響が出ることから、コントロールに苦慮した。
300床台	重点医療機関	周辺の老健施設でのクラスターでは、重症度というより介護度の高い患者の入院で看護師が疲弊、また通常より多い看護師を投入せねばならず、一般病棟の業務制限につながり苦勞しました。
300床台	重点医療機関	院内クラスターを含む多くのクラスター発生に伴い、頻繁な病院体制の変更・維持、また、高齢者施設等へのタスクフォースなど院内に留まらず院外活動まで含めた業務量増加に大変苦勞した。
300床台	重点医療機関	コロナ患者の発生が多い時期は、各部署から応援の看護師を配置し対応しているが、看護師の罹患、子の看護の休暇もあり自部署も厳しい中、応援人員を捻出している。また、コロナ病床も限りがあるため、療養期間明けに一般病棟に転棟となり一般急性期病棟のベッドを塞ぐこととなる。クラスター発生等で退院先施設や後方支援病院の受入れが延期されることもあり退院調整に時間を要している。入院前検査、院内発生時検査、発熱トリアージ運営で人材を確保するため看護部のマンパワーが不足している。

# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など⑤

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
300床台	重点医療機関	地域の感染拡大で、後方支援先も入院制限し、退院調整が進まない上に、自院の患者も対応しつつ、市中のコロナ患者の受け入れも止められず、病床ひっ迫がひどかった。コロナ以外の患者の入院制限を行ったが、当医療圏は特に脳卒中や小児、妊婦の受け入れ病院がないため、救急患者も多く、コロナも一般も病床確保に困った。
300床台	重点医療機関	院内で感染が判明した際、陽性者の行動履歴を把握し、濃厚接触者や検査対象者を特定する作業に多くの労力が割かれた。陽性又は濃厚接触のため就業制限となる職員が増加し、通常診療においても慢性的な人員不足に陥った。特に第7波では当院を含む複数の医療機関でクラスターが相次ぎ、新たな陽性者の受入先や入院患者の転院先の調整が困難となった。また、病室閉鎖や人員不足の状況下でも診療機能を維持するため、看護師の応援体制の整備や患者の緊急性に応じた手術調整など、あらゆる面で早急な対応を要した。
400床台	重点医療機関	クラスターが発生したことにより、診療制限を行ったことで、かなりの減収となった。元々看護師不足であるが休職者が多い時期は、クラスター収束しても、ベッドを制限せざるを得なかった。
400床台	重点医療機関	診療報酬請求においてコロナの公費決定が必要であるため、公費決定通知を確認するまでの間は、請求ができないため、第6波～第7波のコロナ入院患者が多数の期間は、診療報酬の未請求分が増大する。
400床台	重点医療機関	医療圏内において介護施設等でのクラスターが多く発生し、当院で多数患者を受け入れたが、看護力以上に介護力を求められる患者であったことから、通常の病棟看護体制では対応しきれない状況であった。一時的に他部署の介護福祉士を組み込むことで対処した。今後は病棟における介護力をどうやって確保していくか課題と考えている。
400床台	重点医療機関	小児科、産科、耳鼻科、外科、透析患者など、入院患者の診療科が多岐にわたり、また高齢者や介護度が高い患者も多く、入院患者対応に苦渋した。スタッフの就業制限に伴う人員配置も大変だった。コロナ関連の患者を診察できない医療機関がいまだあり、多くの発熱患者が当院を受診し外来診療も逼迫。入院患者への対応、外来での対応と、コロナ対応している病院に集中してより多くの負担がいまだにかかっている現状は問題だと感じる。中等症患者の診療をしている医療機関への負担が大きかったと思うので、その負担が軽減できる重症病床の確保に努めてほしい。

# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など⑥

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
400床台	重点医療機関	<p>一般診療とは別の動線（通常患者が利用しない場所）に発熱外来、帰国者接触者外来を設置し、受入患者数の上限を設けない方針で実施していましたが、ピーク時は午前1日約200人弱が来院し、一般診療の患者動線の一部に待機場所が及び、待ち時間も長くなったため、やむなく受入患者数の上限を150人にしました。最適な運用を目指し、毎日検討、変更、関係者への周知徹底を繰り返したことも大変苦勞した。</p> <p>また、複数病棟で院内感染疑いが同時発生したため、コロナ専用病棟満床後は当該病棟でコホート隔離し、新入院患者の受入を大幅に制限したことにより、不急の予定入院患者に入院延期のお願いをしなければならなかった。さらに、職員の家族感染による濃厚接触者や陽性者も続出したため、勤務可能な職員数が常にギリギリの状態だった。</p>
400床台	重点医療機関	<p>地域に重点医療機関が他になく、重症患者の受け入れを当院だけで行った。症状が軽快したコロナ患者を受け入れてくれる病院がなかったのが苦慮した。3次救急とコロナ患者を同時に受け入れなければならず、マンパワー不足・病床ひっ迫が問題となった。</p>
500床以上	重点医療機関	<p>デルタ株が主流であった第5波と比べ、オミクロン株が主流となった第6波～第7波では、職員が家族等の濃厚接触者となったり、職員自身が感染したりすることで、出勤できない職員が多数にのぼり、医療提供体制の機能低下が懸念された。</p>
500床以上	重点医療機関	<p>第6波のときは陽性職員が増えたことから、濃厚接触者で待機している職員が早期に復帰できる体制を整備し、検査等を徹底することが大変だった。第7波のときは、爆発的に感染者が増え、専従の感染管理担当者は陽性・濃厚接触者となって待機している職員の把握に時間を取られ、通常の感染管理業務が全くできない事態が発生した。有事の際には兼任の感染管理担当者を専従勤務に切り替えるなど柔軟な対応が必要であると感じた。また、クラスターが発生しない場合でも職員のマンパワー不足によって診療を制限せざるを得ない事態も発生した。感染症流行時のマンパワーの確保・診療の制限をどうするかは、あらかじめBCPで決定しておくことが必要であると実感した。</p>

# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など⑦

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
500床以上	重点医療機関	<p>感染源の不明な院内感染が増えた。</p> <p>院内感染が増え、確保病床では足らなくなったため、一般病床で陽性者の治療を行った。</p> <p>病棟閉鎖から病室単位の閉鎖に切り替えたものの、使用可能病床が減り、一般入院に支障が出た。</p> <p>保健所の入院調整機能が破綻し、地域の医療機関や施設等から直接入院依頼や救急搬送が増えた。</p> <p>職員の陽性者が増え、通常の医療提供体制に影響を与えた。</p>
500床以上	重点医療機関	<p>老健施設などの施設がクラスター感染した際に、DNAR（心肺蘇生を行わない）とした人でも、感染を起こした際に、救命目的で当院に搬送してくることが多かった。対応すべき感染者には対応するが、明らかに適応のない感染者も搬送されることが多かった。嘱託医、協力医がすべき診療もしないで病院搬送を命じ、介護度の高い感染者が病院に多く搬送されることが病院を疲弊させる大きな原因である。今後はどのような施設においても、いかなる時間においても嘱託医、協力医が診療した上で搬送については病院の担当者と話し合うシステムにすることが必須である。</p> <p>どのような施設においても24時間にわたる酸素投与、日勤帯での補液療法を行い得ることを施設としての認証条件とすることが急務である。</p> <p>院内感染を併発した際に、最も困ったことは医療従事者、特に看護師の感染者、濃厚接触者が多く、このために病院の機能を縮小せざるを得ない状況に陥った。ワクチン接種を行っているので、職員は感染時、無症状または軽症であることが院内感染をかえって大きくしてしまう。当院では抗原検査、PCR検査を積極的に行ったため、無症状の感染者が多く発見され、医療者不足状態になったが、医療を維持するためには必要な対処であったと考えている。</p> <p>第5波以降、急増する入院感染者に対応し、感染者対応病床急増のために、各病棟の病床を削減し、感染者対応病棟で働く看護師を派遣する体制で行った。これにより短期間に感染者対応病床を増加でき、感染者が少なくなれば感染者対応病床を縮小し、一般病床を増加させることができ、一般診療も維持できた。</p>
500床以上	重点医療機関	<p>陽性患者の受入れに際し、県を介さず医療機関で交渉し調整することは大きな負担だった。</p> <p>高齢者の入院が多く、入院期間が長くなったため、病床利用率が高くなった。</p> <p>発熱外来が混雑し、待合等の場所の問題が課題であった。</p> <p>職員の陽性者も多く、多くの部署で人員不足となった。</p>

# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など⑧

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
500床以上	重点医療機関	市内の受入医療機関は当院1か所のみであり、人口規模からすれば他市と比較し明らかに少ないため、病床のひっ迫が常態化している。コロナ病床の確保にできる限り対応しているが、陰圧空間の増設の困難性や、一般病床の確保とのバランス等から、病院単体としての対応には限界がある。また、軽症化した患者の転院を受け入れる医療機関も近隣にはほとんどなく、一旦患者を受け入れると長期間病床が空かないため、中等症・重症患者の受け入れが一層困難になっている。
500床以上	重点医療機関	職員の感染、自院入院中患者の感染が相次ぎ、見かけ上病床が空いていても、外部からの入院要請を受け入れるのが困難となった。 コロナ自体は軽症でも、元々の基礎疾患の治療を要するケースが多かった。コロナ受け入れ医療機関に患者が集中したり、基礎疾患のために救急要請した患者が受け入れ先が見つからないなどの問題が生じた。 高齢者施設でのクラスター発生により、コロナ自体は軽症でも、介護を要するケースが増加し、病院の病床を圧迫した。
500床以上	重点医療機関	COVID-19妊婦の入院受け入れ施設が少なく、圏域外からの入院受け入れ調整に苦勞している。また、小児については入院適応者が増えたこともあり、妊婦も同様であるが、圏域ごとの入院体制を整えることが必要だと思う。 少なくとも、かかりつけの患者だけでも入院できる体制を構築する必要がある。オミクロン株の流行で、院内発生事例も以前より増えている。後方支援医療機関の受け入れも滞るため、スムーズな入退院が難しくなっている。

# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など⑨

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
500床以上	重点医療機関	<p>県内で最も多くのコロナ病床確保を要請されたことにより一般病床が多く削減されたことに加えて、看護師を中心とした医療従事者のコロナ感染および濃厚接触による自宅待機などでさらに一般病床を縮小せざるを得ない状況が断続的に持続したことで、一般病床が大幅に削減され予定入院・予定手術などを延期せざるを得ない状況となり、患者やその家族への説明とともに苦情などへの対応に苦勞した。</p> <p>また、コロナ患者や一般患者ともに高齢者が多くを占めて入院期間が延長することが多くあり、また後方支援病院も院内感染等で受入病床が縮小されて、当院の空床確保のための転院調整に大変な勞力を要した。</p> <p>上述したように、今後5類相当となった場合に、コロナ診療と一般診療を両立させるためには、医療機関内の感染対策を大幅に緩和し（例えば有症状者のみを対象として診断・治療するなど）、医療従事者や入院患者にコロナ陽性者が発生した病棟でも入退院制限を行うことなく一般患者を受け入れるなど、国民の理解を得ながらコロナ患者と一般患者を区別することなく診療できるようにしていくことが医療逼迫回避には極めて重要と考える。また、医療機関の感染対策が現状のまま5類相当となり、コロナ病床確保も要請されることになると、経営面でもさらに圧迫されるのは自明の理である。</p>

# 第6波～第7波で苦勞されたことや課題など⑩

【自由記載の主な内容を抜粋】

対象期間：2022年1月1日～ 6月30日（第6波）

2022年7月1日～10月31日（第7波）

病床規模	指定医療機関	回答内容
精神科病院	重点医療機関	<p>一つの病棟を閉鎖してさえ、コロナ病棟の診療に必要な人員を確保するのに苦勞した。当院は精神科病院であるので、人員配置が一般病院に比べて少ないこと、精神科病院であるので身体診療になじみがある職員が少ないことなどから、即応病床数・確保病床数に見合う診療を行うのにはリスクが高い状況であるのは今も続いている。院内のクラスター発生に対し、病院の感染管理上の責任や情報開示に関して医療スタッフの心的負担、疲弊が生じた。</p> <p>病床利用の数的負担が増大した際に、COVID19診療にシニアレジデント（精神科専攻）に診療協力を求める必要が生じた。短期間ではあるものの本来の希望する専門科研修に支障を来たした。また、ジュニアレジデントも配属病棟の希望に対し、変更に協力してもらうこととなった。教育施設としてなるべく配慮しているが、初期臨床研修上の経験すべき症例に偏りが生じている可能性がある。</p> <p>感染症病床以外の病床運用に当たって、感染管理上、新規入院患者で感染が否定できない場合に個室を割り当てる必要があり苦慮している。（入院時検査でもすり抜けの事例を経験している。）</p> <p>臨床上、高齢者、他院での長期入院または施設入所者の受け入れが多く、細菌性肺炎、誤嚥性肺炎の併発のため、療養期間を越えた入院期間となることが多く見られる。抗菌薬の使用は増加。喀痰からは耐性菌の検出が多い。</p> <p>濃厚接触者の待機期間の短縮について、検査の上での3日目の解除は理論上受け入れ難く採用していない。</p>
精神科病院	上記以外の医療機関	<p>入院患者のコロナウイルス感染により入院制限を実施した結果、大幅な収益の減少があった。また、病棟看護師への感染拡大があり、看護体制が逼迫した。</p>